

特別区の温室効果ガス排出量 (1990 年度～2023 年度)

2026 年 3 月

オール東京 62 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

本報告書における注意点について

① カーボン・オフセット等の施策の成果について

本報告書は、各区の地球温暖化防止に係る計画策定や施策に活用いただくことを目的に、温室効果ガス排出量の現況の基礎データを提供するものである。したがって、カーボン・オフセット等による各区の施策の成果等は計上していない。

② 三ふっ化窒素の追加について

2013年度より三ふっ化窒素を算定対象として追加することとした。三ふっ化窒素は地球温暖化係数が16,100と非常に大きく（二酸化炭素：1、メタン：28、一酸化二窒素：265）、京都議定書の第二約束期間で新たに追加された対象ガス種である。

③ 基準年度について

本報告書でいう基準年度は、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素については1990年度、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄については1995年度、三ふっ化窒素については2013年度を指す。

④ 四捨五入の関係について

本報告書において、各区それぞれの温室効果ガス排出量を合計した値と、「特別区の温室効果ガス排出量」は四捨五入の関係で異なることがある。また、温室効果ガス排出量の推移における各年度の合計も四捨五入の関係で異なることがある。

⑤ 算定年度について

本報告書掲載の年度は基準年度から直近年度までとする。なお、算定に必要となる全ての統計データが公表された後に算定の実施が可能となることから、直近年度は本報告書発行年度の2年前となる。

⑥ 算定結果を引用する際の出典の記載例について

自治体の公表物の中で本報告書の算定結果を引用する際には、次のように出典を明示すること。また、編集・加工等して利用する場合は、出典とは別に、編集・加工等を行ったことを明示すること。

【出典記載例】

“出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」『特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2023年度）』（2026年3月）”

【編集・加工等を行った際の記載例】

“表 I-2 特別区における部門別二酸化炭素排出量の推移”を加工して作成”

⑦ 電気のCO₂排出係数の定義変更について

従来（2022年度値まで）の算定では、電気事業者が発電に伴い排出したCO₂排出量を販売した電力量で除して算出した「未調整排出係数」を用いてきたが、国の「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」での使用係数の変更に合わせて、2023年度値の算定からは、電気事業者が調達した非化石証書などの環境価値が反映された「基礎排出係数（非化石電源調整済）」を使用することとした。

なお、2022年度値までの算定結果を含めた経年推移を確認する際には、上述の通り排出係数の定義が異なるため留意が必要である（※自治体別の算定結果については、従来の未調整排出係数で算定した2023年度値も参考として併記）。

用語・単位について

二酸化炭素排出係数

燃料 1 単位（例えばガスの場合 1 m^3 ）の燃焼に伴う二酸化炭素（ CO_2 ）排出量を表す。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、 1 kWh の供給に必要な燃料の燃焼に伴う二酸化炭素排出量を意味することが一般的で、単位は $\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$ となる。

記載箇所) II-2 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因

地球温暖化係数 (Global Warming Potential : GWP)

二酸化炭素と比べて、他の温室効果ガスがどれだけ（何倍）温暖化に影響を与える能力があるかを示す数字である。例えば、メタン（ CH_4 ）のそれは 28 とされており、これは二酸化炭素の 28 倍程度の温暖化する能力があることを意味する。

記載箇所) 本報告書における注意点について、主な温室効果ガスの種類について

t- CO_2 / t- CO_2eq

t- CO_2 は、二酸化炭素 1 トンを意味する単位で、「トン CO_2 」と呼ぶ。また、t- CO_2eq は、各種の温室効果ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて t- CO_2 相当量に換算した値に付される単位であり、「トン CO_2 イクイヴァalent (equivalent)」または「トン CO_2 イーキュー」と呼ぶ。

TJ

10^{12} J (ジュール) を意味する単位で、「テラ・ジュール」と呼ぶ。

主な温室効果ガスの種類について

二酸化炭素 (CO₂)

代表的な温室効果ガスであり、我が国の温室効果ガス排出量全体の90%以上を占めている。化石燃料の燃焼などが排出源となっている。地球温暖化係数は1である。

メタン (CH₄)

天然ガスの主成分である。常温では気体で、よく燃える性質を持っている。稲作の水田、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなどが排出源となっている。地球温暖化係数は28である。

一酸化二窒素 (N₂O)

数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質で、他の窒素酸化物（例えば二酸化窒素）などのような害はない。燃料の燃焼、工業プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は265である。

ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)

塩素を有しないためオゾン層を破壊しない一方、強力な温室効果を有するフロンガスである。スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセスなどが主な排出源となっている。例えば、代表的なHFCsの1つであるHFC-134aの地球温暖化係数は1,300である。

パーフルオロカーボン類 (PFCs)

炭素とフッ素だけからなるフロンで、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。例えば、代表的なPFCsの1つであるPFC-14の地球温暖化係数は6,630である。

六ふっ化硫黄 (SF₆)

硫黄の六フッ化物で、強力な温室効果を有する。電気の絶縁体などが排出源となっている。地球温暖化係数は23,500である。

三ふっ化窒素 (NF₃)

窒素とフッ素からなる無機化合物で、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は16,100である。

出典1) 全国地球温暖化防止活動推進センター「温室効果ガスの特徴」

<https://www.jccca.org/download/13266>

(最終アクセス日: 2026年3月4日)

出典2) 環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf

(最終アクセス日: 2026年3月4日)

本報告書で掲載しているデータの紹介と考察のポイント

掲載しているデータ

1 各区の温室効果ガス排出量の推移

1. 特別区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-1 特別区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

区分	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
特別区	41,293	41,293	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543
二酸化炭素	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54
メタン	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498
一酸化二窒素	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219	219
ハイドロフルオロカーボン類	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
パーフルオロカーボン類	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
六ふっ化硫黄	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
三ふっ化窒素	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
合計	42,057	41,718	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224	44,224

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度推定結果を示す(詳細は「本報告書における留意点について」⑦参照)。
 (注2) 表中の数字は小数点以下を四捨五入している。
 (注3) ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄については1995年度から、三ふっ化窒素については2013年度から算定している。

各自治体における温室効果ガス排出量の推移を示しています。温室効果ガスは下記の7種類を掲載しています。

- 二酸化炭素 (CO₂)
- メタン (CH₄)
- 一酸化二窒素 (N₂O)
- ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)
- パーフルオロカーボン類 (PFCs)
- 六ふっ化硫黄 (SF₆)
- 三ふっ化窒素 (NF₃)

表 I-2 特別区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

区分	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
産業	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
建設	1,486	1,216	823	250	381	843	364	368	1,152	2,051	1,942	1,742	1,396	1,624	1,770	1,624	1,446	1,624	1,624	1,624	1,624	1,624
運輸	5,422	4,244	3,242	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222
家庭	8,592	10,237	10,394	11,202	10,244	12,314	12,462	12,510	12,568	13,671	14,877	14,821	14,821	13,369	13,277	12,846	12,398	12,262	12,064	12,077	12,077	12,077
製造業	12,126	12,429	12,678	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742	12,742
廃棄物	12,782	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792	25,792
合計	41,293	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543	41,543

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度推定結果を示す(詳細は「本報告書における留意点について」⑦参照)。
 (注2) 表中の数字は小数点以下を四捨五入している。

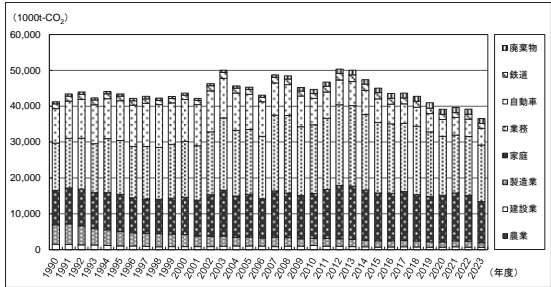


図 I-1 特別区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(注) 二酸化炭素は温室効果ガス排出量の中で大半を占めるため、二酸化炭素排出量についての推移を掲載している。

温室効果ガス7種のうち、排出量の大部分を占める二酸化炭素 (CO₂) の排出量の推移を下記の部門別に掲載しています。

- 産業部門 (農業、建設業、製造業)
- 民生部門 (家庭、業務)
- 運輸部門 (自動車、鉄道)
- 廃棄物部門 (一般廃棄物)

考察のポイント

- 1990年度～2023年度の温室効果ガス排出量の推移について確認しましょう。
- 近年(3～5年程度)の温室効果ガス排出量が増加しているのか減少しているのかを確認しましょう。
- 1990年度～2023年度の中で、二酸化炭素排出量が増加している部門と減少している部門を確認し、域内で起こったエネルギー消費量に影響を与えそうな出来事を振り返ってみましょう。
- 自治体が掲げている削減目標等と照らし合わせてみましょう。
- 上記に記載しているポイント以外にも様々な視点で考察してみましょう。

データの留意点

- 2003年度に二酸化炭素排出量が大きく増加しているのは「東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下」の影響によります。
- 2011年度以降は「東日本大震災以降の原子力発電所の停止」に伴う電気のCO₂排出係数の増加により、2011年度以前と比べると二酸化炭素排出量は多くなる傾向があります。
- 2023年度は、算定に使用する電気のCO₂排出係数の定義が「未調整排出係数」から「基礎排出係数(非化石電源調整済)」へ変更されたことによる影響が含まれます。
- 結果には推計誤差が含まれているため、二酸化炭素排出量の変化を説明できる要因が特定できない場合があります。

目次

I 各区の温室効果ガス排出量の推移	1
1. 特別区の温室効果ガス排出量の推移	1
2. 千代田区の温室効果ガス排出量の推移	2
3. 中央区の温室効果ガス排出量の推移	3
4. 港区の温室効果ガス排出量の推移	4
5. 新宿区の温室効果ガス排出量の推移	5
6. 文京区の温室効果ガス排出量の推移	6
7. 台東区の温室効果ガス排出量の推移	7
8. 墨田区の温室効果ガス排出量の推移	8
9. 江東区の温室効果ガス排出量の推移	9
10. 品川区の温室効果ガス排出量の推移	10
11. 目黒区の温室効果ガス排出量の推移	11
12. 大田区の温室効果ガス排出量の推移	12
13. 世田谷区の温室効果ガス排出量の推移	13
14. 渋谷区の温室効果ガス排出量の推移	14
15. 中野区の温室効果ガス排出量の推移	15
16. 杉並区の温室効果ガス排出量の推移	16
17. 豊島区の温室効果ガス排出量の推移	17
18. 北区の温室効果ガス排出量の推移	18
19. 荒川区の温室効果ガス排出量の推移	19
20. 板橋区の温室効果ガス排出量の推移	20
21. 練馬区の温室効果ガス排出量の推移	21
22. 足立区の温室効果ガス排出量の推移	22
23. 葛飾区の温室効果ガス排出量の推移	23
24. 江戸川区の温室効果ガス排出量の推移	24
II 特別区の温室効果ガス排出量増減に関する考察	25
1. 特別区の温室効果ガス排出量の全体の傾向	25
2. 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因	26
3. 民生家庭部門における世帯数の影響	27
4. 民生業務部門における延床面積の影響	28

I 各区の温室効果ガス排出量の推移

1. 特別区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-1 特別区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	41,263	41,263	43,445	43,646	45,293	43,083	48,757	48,446	45,224	44,685	46,740	50,368	50,016	47,390	45,067	43,534	43,650	42,759	40,993	39,139	39,650	39,163	36,535	39,677
メタン (CH ₄)	54	54	53	53	49	38	46	47	45	43	42	42	49	49	48	49	49	45	47	46	45	50	48	48
一酸化二窒素 (N ₂ O)	400	400	414	386	316	308	292	271	261	201	178	171	161	152	169	148	153	147	144	140	133	119	118	118
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	219		219	519	484	395	1,060	1,241	1,415	1,560	1,719	1,950	2,574	2,919	3,219	3,554	3,987	4,202	4,450	4,658	4,826	4,147	2,779	2,779
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	25		25	4	0	0	0	0	0	0	5	4	4	4	4	3	2	3	3	3	4	3	4	2
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	78		78	26	14	21	18	20	16	17	24	25	22	19	17	18	18	17	17	18	21	5	23	23
三ふっ化窒素 (NF ₃)	12												12	5	5	5	3	1	1	1	1	1	0	0
合計	42,051	41,716	44,235	44,635	46,156	43,854	50,172	50,026	46,961	46,507	48,708	52,559	52,838	50,536	48,528	47,312	47,863	47,173	45,654	44,007	44,680	43,489	39,506	42,648

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。
 (注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。
 (注3) ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄については1995年度から、三ふっ化窒素については2013年度から算定している。

表 I-2 特別区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	11	17	16	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	12	12	12	12	10	10	10	10	10	10
建設業	1,488	1,019	837	991	961	847	940	958	1,152	950	921	848	793	663	747	810	744	677	678	797	642	621	651
製造業	5,423	4,024	3,345	2,529	2,263	2,626	2,378	2,076	1,944	2,176	2,104	2,013	1,792	1,693	1,710	1,633	1,499	1,440	1,634	1,664	1,290	1,290	1,410
産業部門	6,922	5,060	4,198	3,536	3,239	3,488	3,334	3,049	3,110	3,140	3,039	2,875	2,600	2,458	2,451	2,532	2,389	2,186	2,128	2,441	2,316	1,920	2,071
家庭	9,590	10,337	10,394	11,901	10,941	12,919	12,465	12,102	12,580	13,631	14,877	14,821	14,001	13,369	13,272	13,643	12,938	12,582	13,040	13,377	12,784	11,493	12,576
業務	13,193	15,031	15,579	18,086	17,422	21,080	21,586	19,123	19,117	19,877	22,508	22,461	21,095	19,664	19,333	19,031	19,093	18,058	16,423	16,164	16,473	15,726	17,458
民生部門	22,782	25,368	25,973	29,987	28,363	33,998	34,051	31,225	31,697	33,508	37,385	37,283	35,096	33,034	32,605	32,674	32,031	30,640	29,462	29,542	29,258	27,219	30,034
自動車	9,632	11,091	11,689	9,791	9,603	9,011	8,649	8,606	7,334	7,314	6,893	6,722	6,718	6,571	5,531	5,434	5,319	5,114	4,730	4,858	4,789	4,698	4,698
鉄道	1,335	1,291	1,220	1,383	1,269	1,589	1,544	1,362	1,371	1,605	1,830	1,838	1,748	1,718	1,653	1,636	1,618	1,541	1,400	1,397	1,373	1,322	1,498
運輸部門	10,968	12,382	12,909	11,174	10,872	10,600	10,193	9,968	8,706	8,919	8,723	8,561	8,466	8,289	7,184	7,069	6,938	6,655	6,130	6,255	6,163	6,020	6,196
産業物部門	591	635	566	596	609	670	868	982	1,172	1,174	1,221	1,298	1,228	1,286	1,294	1,374	1,402	1,512	1,419	1,412	1,426	1,376	1,376
合計	41,263	43,445	43,646	45,293	43,083	48,757	48,446	45,224	44,685	46,740	50,368	50,016	47,390	45,067	43,534	43,650	42,759	40,993	39,139	39,650	39,163	36,535	39,677

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。
 (注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

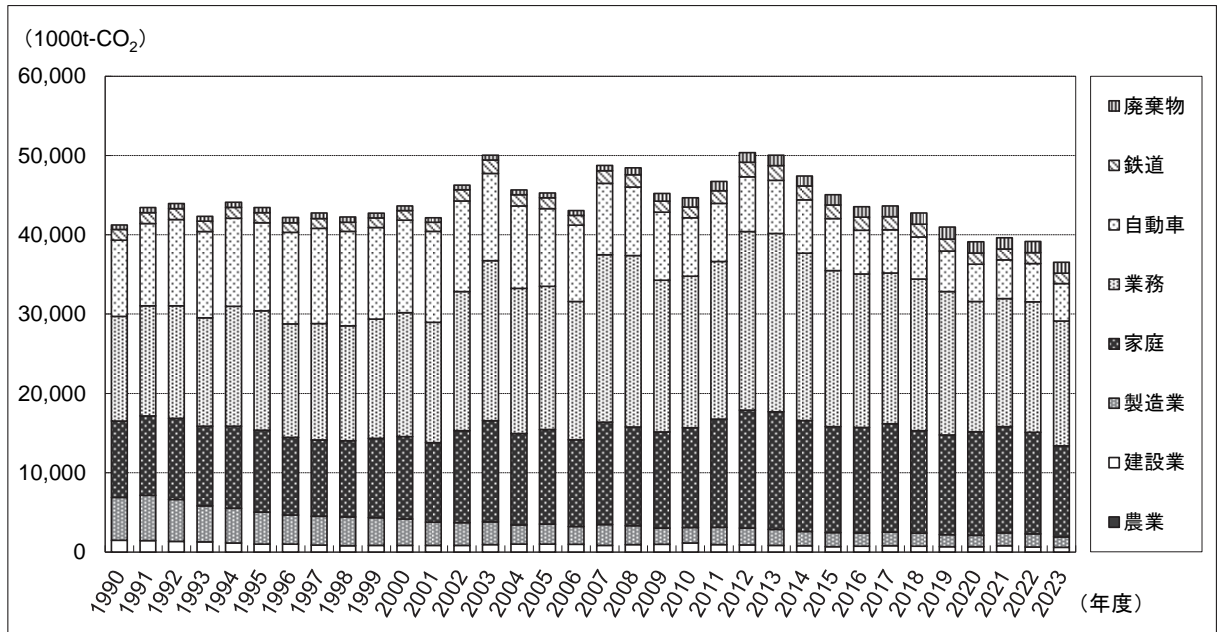


図 I-1 特別区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(注) 二酸化炭素は温室効果ガス排出量の中で大半を占めるため、二酸化炭素排出量についての推移を掲載している。

2. 千代田区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-3 千代田区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,758	2,758	2,741	2,667	2,867	2,705	3,208	3,182	2,912	2,828	2,874	3,168	3,190	3,018	2,911	2,804	2,759	2,780	2,667	2,424	2,441	2,517	2,231	2,451
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	17	17	17	15	11	12	11	10	10	7	6	6	6	5	6	5	5	5	5	4	4	4	4	4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	12		12	28	28	25	101	119	139	164	188	211	278	324	363	404	431	461	500	533	570	476	265	265
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	6		6	2	1	2	1	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	0	2	2
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	2,794	2,777	2,777	2,713	2,909	2,745	3,324	3,314	3,063	3,002	3,072	3,387	3,477	3,349	3,282	3,216	3,198	3,249	3,175	2,964	3,018	2,999	2,503	2,723

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-4 千代田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	53	18	34	59	45	45	56	96	95	50	32	25	51	52	49	63	15	16	16	11	18	63	66
製造業	122	136	131	12	9	10	9	7	6	17	9	11	10	9	7	8	7	6	12	16	14	10	11
産業部門	175	154	165	70	54	56	65	103	101	67	41	35	61	61	56	70	22	23	28	26	32	73	78
家庭	110	107	99	110	104	126	122	118	122	136	151	153	144	144	142	143	138	142	153	158	153	123	136
業務	1,881	1,833	1,769	2,114	1,981	2,443	2,427	2,146	2,101	2,136	2,427	2,458	2,282	2,188	2,139	2,094	2,161	2,059	1,858	1,866	1,938	1,655	1,836
民生部門	1,991	1,940	1,869	2,224	2,085	2,570	2,549	2,265	2,223	2,272	2,578	2,611	2,426	2,332	2,281	2,237	2,299	2,201	2,011	2,024	2,092	1,778	1,972
自動車	405	465	475	405	397	373	358	356	308	313	293	285	284	272	230	213	221	211	195	200	198	186	186
鉄道	168	165	145	155	149	187	182	157	160	188	219	220	209	206	197	196	195	186	157	156	160	157	178
運輸部門	573	630	620	560	546	560	539	513	468	501	512	504	494	477	427	409	416	397	352	357	357	343	364
廃棄物部門	19	17	13	12	20	23	28	31	36	35	37	40	37	40	40	43	43	47	33	34	37	38	38
合計	2,758	2,741	2,667	2,867	2,705	3,208	3,182	2,912	2,828	2,874	3,168	3,190	3,018	2,911	2,804	2,759	2,780	2,667	2,424	2,441	2,517	2,231	2,451

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

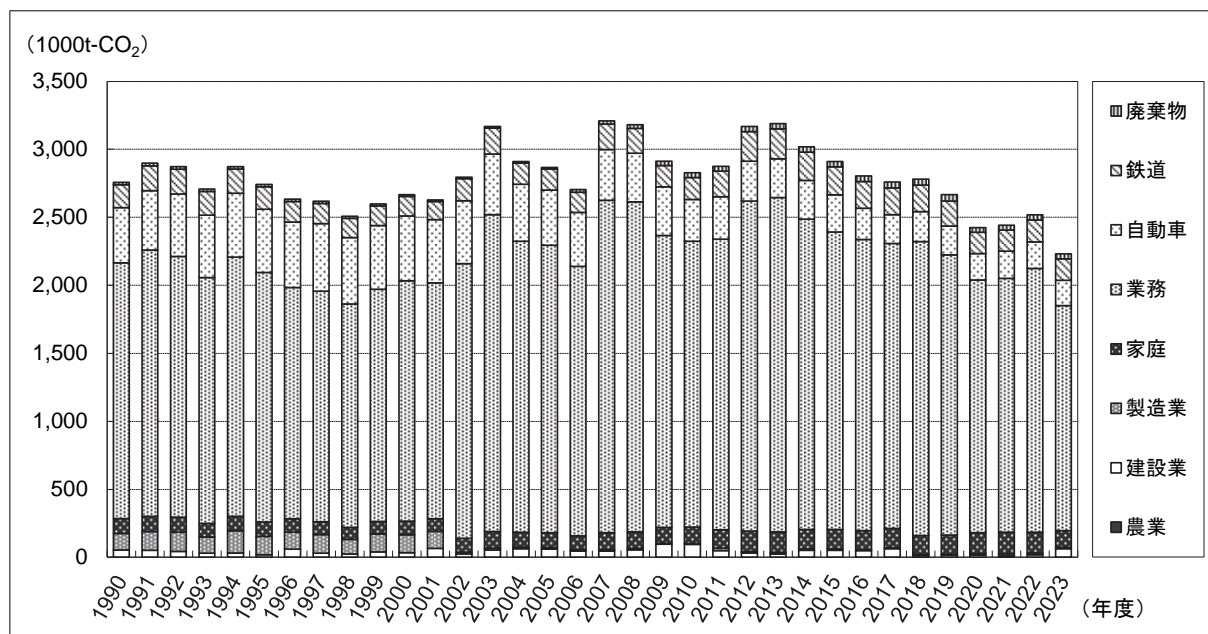


図 I-2 千代田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

3. 中央区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-5 中央区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,901	1,901	1,918	1,852	2,169	2,018	2,366	2,382	2,151	2,149	2,178	2,421	2,399	2,258	2,190	2,154	2,112	2,085	1,978	1,783	1,816	1,815	1,658	1,812
メタン (CH ₄)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	15	15	16	14	11	11	11	10	9	7	6	6	6	5	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	13		13	33	28	23	76	88	99	109	124	141	182	208	229	252	269	283	303	318	330	275	157	157
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																					0	0	0
合計	1,935	1,918	1,952	1,901	2,210	2,056	2,456	2,482	2,261	2,266	2,311	2,570	2,590	2,473	2,428	2,414	2,389	2,375	2,288	2,108	2,153	2,096	1,822	1,976

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-6 中央区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	73	32	28	58	31	35	30	39	96	41	56	62	47	40	52	32	68	19	31	66	44	46	48
製造業	96	75	61	27	23	24	22	19	15	29	17	18	13	13	10	9	8	8	16	25	14	11	12
産業部門	168	107	89	85	54	59	53	58	111	70	74	80	60	53	61	40	76	26	46	91	59	56	60
家庭	126	132	140	185	178	222	221	219	222	252	284	280	275	267	271	282	272	268	273	305	270	242	266
業務	1,175	1,200	1,151	1,475	1,364	1,674	1,702	1,477	1,461	1,493	1,707	1,687	1,575	1,531	1,518	1,493	1,439	1,390	1,203	1,153	1,217	1,102	1,224
民生部門	1,302	1,332	1,291	1,661	1,542	1,896	1,924	1,696	1,683	1,745	1,991	1,967	1,850	1,798	1,789	1,775	1,710	1,658	1,475	1,457	1,488	1,344	1,490
自動車	371	422	424	371	364	342	328	326	271	274	258	252	251	241	208	196	199	194	179	183	182	173	173
鉄道	36	34	32	38	35	43	43	34	38	44	51	51	48	48	46	45	45	43	40	40	39	37	42
運輸部門	407	456	456	409	399	385	371	360	310	319	309	303	300	289	253	242	244	237	218	223	221	210	215
廃棄物部門	24	23	17	15	24	27	34	37	45	44	47	50	47	50	51	55	55	56	43	44	47	48	48
合計	1,901	1,918	1,852	2,169	2,018	2,366	2,382	2,151	2,149	2,178	2,421	2,399	2,258	2,190	2,154	2,112	2,085	1,978	1,783	1,816	1,815	1,658	1,812

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

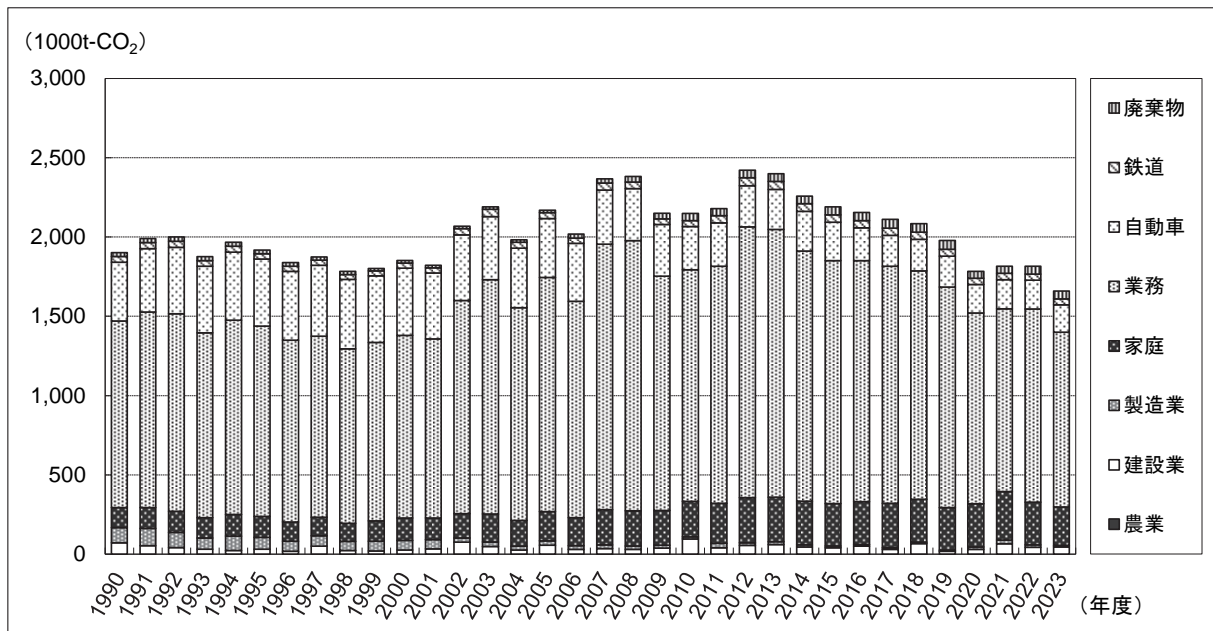


図 I-3 中央区における部門別二酸化炭素排出量の推移

4. 港区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-7 港区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,970	2,970	3,029	3,307	3,867	3,696	4,303	4,281	3,897	3,816	3,966	4,358	4,324	4,186	3,966	3,807	3,793	3,740	3,574	3,218	3,224	3,230	3,022	3,296
メタン (CH ₄)	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	22	22	23	21	18	18	17	16	15	12	11	10	10	9	11	9	9	9	8	8	7	7	7	7
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	14		14	32	33	30	106	128	147	164	185	210	275	311	348	381	417	444	473	500	513	437	255	255
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	6		6	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,015	2,995	3,075	3,366	3,921	3,748	4,431	4,430	4,064	3,995	4,166	4,583	4,613	4,510	4,328	4,201	4,223	4,197	4,059	3,729	3,749	3,677	3,289	3,563

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-8 港区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	115	38	157	112	63	43	57	66	37	74	70	55	58	33	75	82	54	115	84	129	34	54	57
製造業	154	104	107	40	30	30	28	30	27	33	37	31	29	28	23	25	24	19	22	36	30	28	30
産業部門	268	142	264	152	93	73	85	96	63	107	107	87	87	61	97	107	78	133	106	165	64	82	87
家庭	271	279	300	376	360	453	439	427	441	477	533	535	503	489	487	497	473	458	466	479	459	417	458
業務	1,730	1,816	1,924	2,607	2,523	3,054	3,046	2,683	2,653	2,688	3,025	3,012	2,887	2,719	2,631	2,602	2,598	2,414	2,152	2,081	2,205	2,036	2,245
民生部門	2,001	2,095	2,223	2,983	2,883	3,507	3,485	3,109	3,094	3,165	3,558	3,546	3,390	3,208	3,118	3,099	3,071	2,873	2,618	2,560	2,664	2,453	2,704
自動車	566	654	680	567	556	523	504	499	454	465	435	425	454	439	340	331	335	316	289	299	296	278	278
鉄道	110	114	118	142	130	164	159	140	142	166	193	195	186	185	179	177	175	166	140	133	135	137	156
運輸部門	676	768	799	709	686	687	664	639	595	631	628	620	641	624	519	509	510	483	429	433	431	415	433
廃棄物部門	25	24	21	23	33	37	48	53	63	63	66	71	68	72	73	79	81	86	65	67	71	72	72
合計	2,970	3,029	3,307	3,867	3,696	4,303	4,281	3,897	3,816	3,966	4,358	4,324	4,186	3,966	3,807	3,793	3,740	3,574	3,218	3,224	3,230	3,022	3,296

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

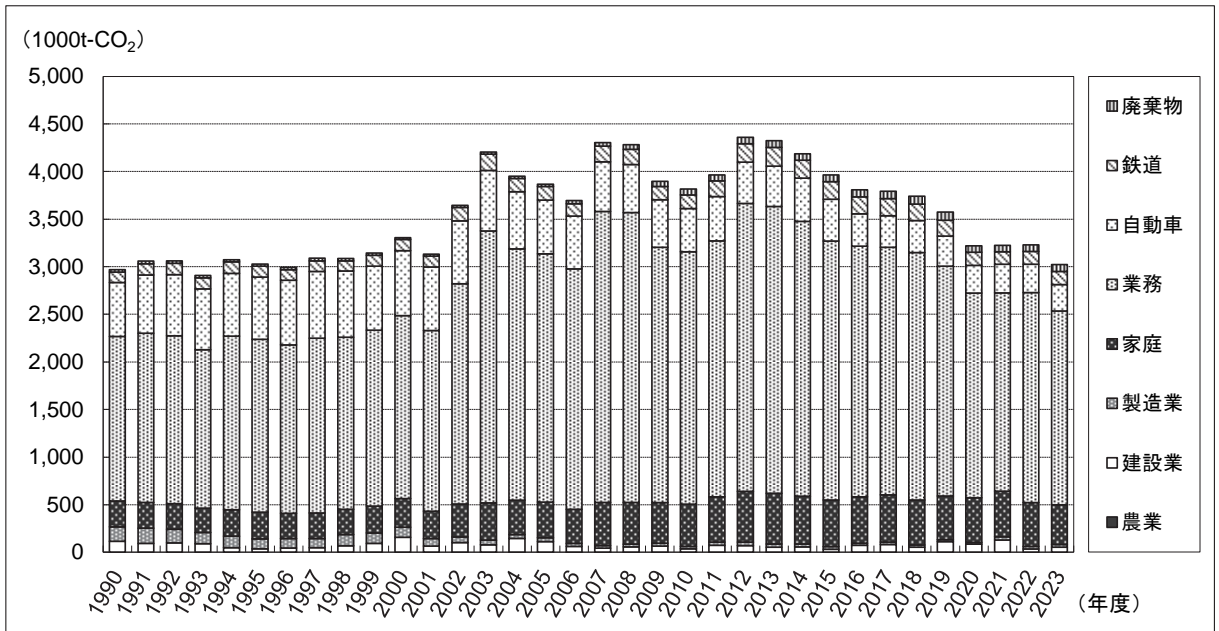


図 I-4 港区における部門別二酸化炭素排出量の推移

5. 新宿区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-9 新宿区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,464	2,464	2,635	2,700	2,849	2,717	3,108	3,137	2,895	2,823	2,935	3,232	3,201	3,013	2,837	2,783	2,759	2,702	2,595	2,356	2,363	2,384	2,261	2,471
メタン (CH ₄)	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	19	19	19	18	14	15	14	13	12	9	8	8	7	7	8	7	7	7	7	6	6	5	5	5
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	13		13	32	28	23	77	88	101	113	127	147	195	220	239	262	291	307	326	345	350	298	185	185
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふッ化硫黄 (SF ₆)	5		5	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふッ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	2,503	2,486	2,674	2,753	2,895	2,759	3,202	3,241	3,011	2,949	3,073	3,390	3,407	3,244	3,087	3,055	3,061	3,020	2,930	2,711	2,723	2,690	2,454	2,665

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-10 新宿区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	105	51	35	40	47	39	55	50	56	43	51	46	22	37	49	36	26	37	19	33	21	38	40
製造業	169	143	138	103	82	82	68	59	53	65	58	53	44	41	26	27	25	22	21	23	23	17	19
産業部門	274	194	173	143	129	121	123	110	109	108	109	99	66	78	75	63	51	60	40	56	44	55	59
家庭	399	427	419	487	444	530	512	497	515	568	632	633	599	561	560	574	543	526	533	545	527	478	525
業務	1,241	1,407	1,486	1,648	1,584	1,884	1,944	1,740	1,704	1,747	1,966	1,947	1,837	1,699	1,688	1,664	1,653	1,566	1,388	1,360	1,412	1,336	1,477
民生部門	1,640	1,834	1,905	2,135	2,029	2,414	2,456	2,236	2,219	2,314	2,599	2,579	2,436	2,260	2,248	2,238	2,196	2,093	1,921	1,905	1,940	1,814	2,002
自動車	378	435	462	399	391	367	349	352	290	282	266	258	260	247	215	210	207	198	184	187	184	182	182
鉄道	142	143	138	151	135	169	161	143	143	168	193	194	184	181	173	172	170	161	142	145	143	136	154
運輸部門	519	578	600	550	527	536	510	495	433	450	459	453	444	428	388	381	377	359	326	332	326	317	335
廃棄物部門	30	29	21	21	33	37	47	54	63	63	65	70	67	71	72	77	78	83	69	70	75	74	74
合計	2,464	2,635	2,700	2,849	2,717	3,108	3,137	2,895	2,823	2,935	3,232	3,201	3,013	2,837	2,783	2,759	2,702	2,595	2,356	2,363	2,384	2,261	2,471

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

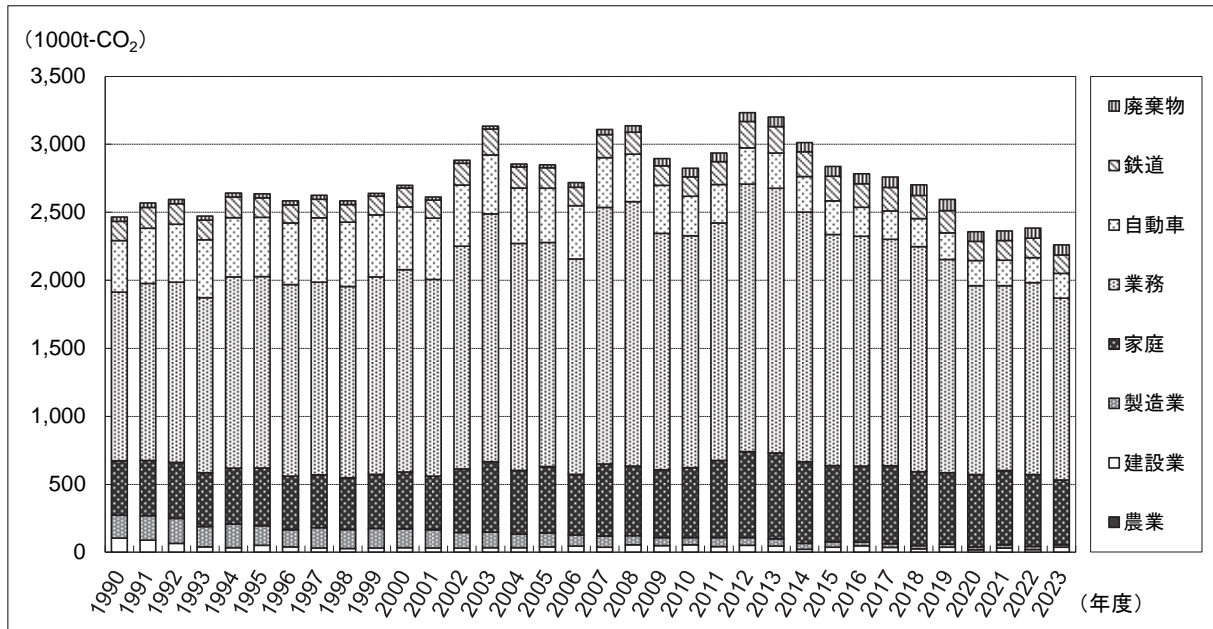


図 I-5 新宿区における部門別二酸化炭素排出量の推移

6. 文京区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-11 文京区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	924	924	1,009	1,051	1,149	1,062	1,218	1,218	1,129	1,110	1,185	1,296	1,301	1,217	1,156	1,145	1,131	1,112	1,068	1,043	1,064	1,049	1,019	1,118
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	9	9	9	8	7	7	6	6	6	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	6		6	14	13	11	32	37	43	49	55	62	82	94	105	116	132	141	151	163	156	133	85	85
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	942	934	1,027	1,076	1,170	1,081	1,258	1,262	1,179	1,164	1,245	1,363	1,388	1,316	1,266	1,266	1,267	1,257	1,224	1,210	1,224	1,186	1,109	1,208

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-12 文京区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	43	27	16	19	23	18	23	26	22	32	20	27	13	11	19	13	13	12	18	21	12	11	11
製造業	93	82	66	30	25	29	26	25	23	28	29	27	23	22	22	21	16	16	13	16	17	12	14
産業部門	137	109	82	49	48	47	49	51	44	60	49	54	36	33	41	33	29	28	30	37	29	23	25
家庭	232	246	250	289	265	321	308	298	313	341	375	374	353	338	336	347	329	323	338	347	338	299	327
業務	349	420	480	594	532	641	653	574	586	619	710	714	672	633	632	616	620	585	553	555	558	577	644
民生部門	581	666	731	883	797	962	961	872	899	960	1,085	1,088	1,025	971	968	963	949	908	890	901	896	876	971
自動車	184	211	219	195	191	180	173	171	125	120	114	110	110	105	89	86	84	81	75	77	75	74	74
鉄道	10	9	10	12	11	14	14	11	13	16	18	18	17	17	16	16	15	14	15	14	15	14	16
運輸部門	194	221	229	207	203	194	188	183	138	136	132	128	127	122	105	102	100	96	89	91	90	88	90
廃棄物部門	13	14	10	14	15	20	24	28	28	30	32	32	29	30	31	33	34	36	33	34	34	33	33
合計	924	1,009	1,051	1,149	1,062	1,218	1,218	1,129	1,110	1,185	1,296	1,301	1,217	1,156	1,145	1,131	1,112	1,068	1,043	1,064	1,049	1,019	1,118

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

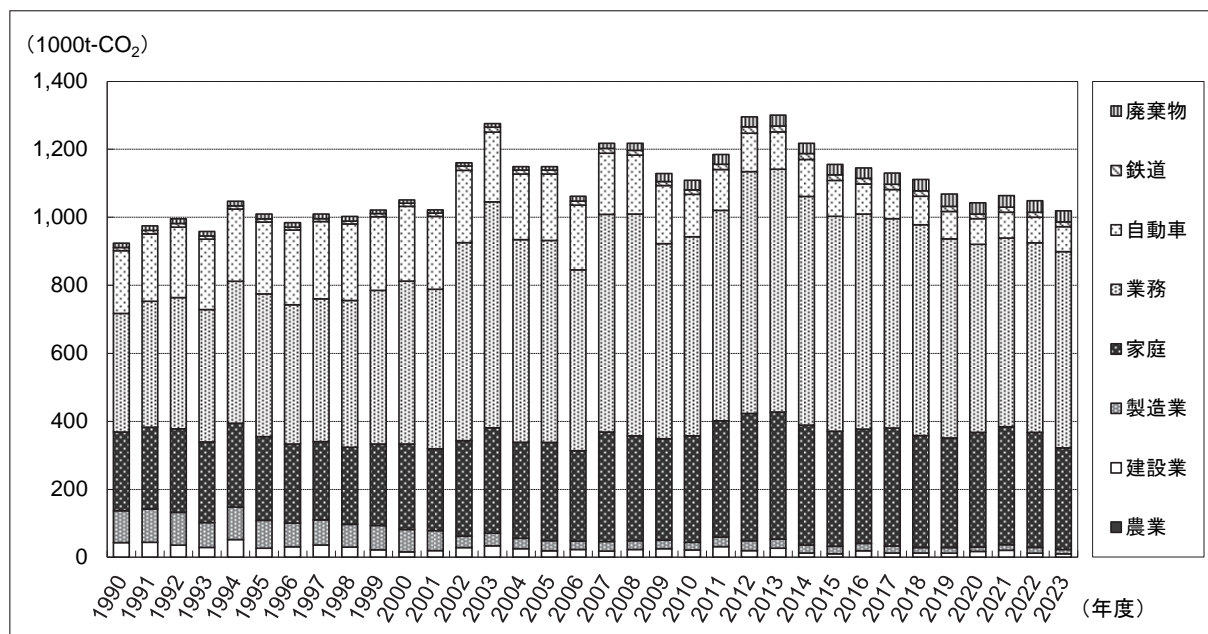


図 I-6 文京区における部門別二酸化炭素排出量の推移

7. 台東区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-13 台東区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,150	1,150	1,165	1,139	1,164	1,098	1,219	1,217	1,135	1,106	1,147	1,272	1,254	1,200	1,122	1,105	1,108	1,116	1,049	971	986	993	998	1,089
メタン (CH ₄)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	11	11	11	10	8	8	8	7	7	5	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	11		11	23	17	12	30	34	39	43	48	54	71	79	88	101	109	114	119	124	133	113	75	75
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,175	1,163	1,191	1,174	1,190	1,120	1,259	1,260	1,183	1,156	1,201	1,332	1,330	1,285	1,216	1,211	1,222	1,235	1,173	1,100	1,124	1,111	1,078	1,169

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-14 台東区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	40	23	16	19	20	14	27	27	28	20	19	17	26	14	25	22	26	20	26	22	17	18	19
製造業	149	98	93	55	42	52	50	40	32	49	30	31	28	28	25	22	19	18	19	32	33	23	26
産業部門	189	120	110	74	62	66	78	66	60	69	49	48	53	42	49	44	45	38	45	54	50	41	45
家庭	231	248	247	282	267	316	306	297	305	338	376	369	357	344	341	350	334	324	324	341	333	308	338
業務	403	446	425	483	448	520	524	466	483	484	586	581	539	494	495	495	522	477	410	398	416	456	506
民生部門	635	694	673	765	715	836	830	762	789	822	963	950	896	838	836	845	856	801	735	739	749	764	844
自動車	240	276	295	260	255	239	227	229	175	165	156	150	151	143	123	121	116	112	104	106	104	104	104
鉄道	66	56	49	51	48	59	57	50	50	58	69	68	64	62	59	59	59	56	50	50	51	50	57
運輸部門	307	332	343	311	302	297	284	279	225	223	225	218	215	205	183	180	175	167	154	156	155	154	161
廃棄物部門	19	19	13	13	18	19	25	27	33	33	35	37	35	37	37	39	40	43	37	37	39	39	39
合計	1,150	1,165	1,139	1,164	1,098	1,219	1,217	1,135	1,106	1,147	1,272	1,254	1,200	1,122	1,105	1,108	1,116	1,049	971	986	993	998	1,089

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

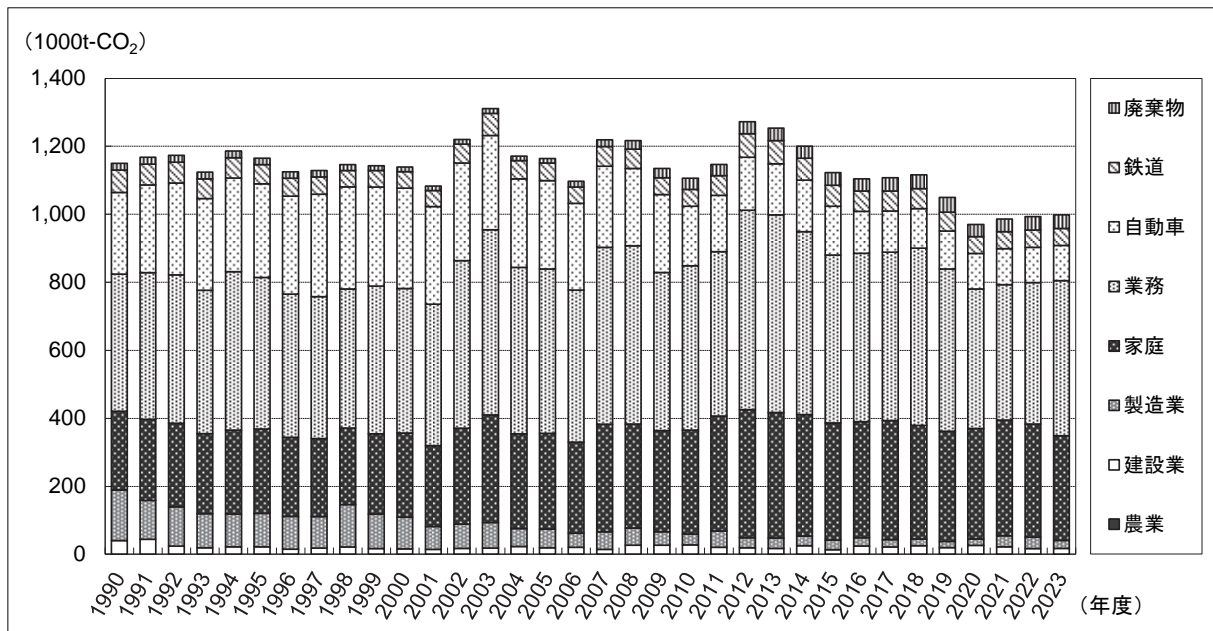


図 I-7 台東区における部門別二酸化炭素排出量の推移

8. 墨田区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-15 墨田区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,257	1,257	1,238	1,232	1,184	1,149	1,277	1,299	1,192	1,147	1,213	1,330	1,312	1,252	1,183	1,140	1,138	1,110	1,071	1,034	1,056	1,029	959	1,037
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	13	13	14	12	10	10	9	9	8	6	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	8		8	18	14	11	24	28	32	34	37	42	56	63	69	76	86	90	94	99	103	89	64	64
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	5												5	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,289	1,273	1,265	1,265	1,210	1,172	1,313	1,338	1,234	1,189	1,257	1,378	1,380	1,324	1,260	1,223	1,230	1,206	1,171	1,138	1,164	1,124	1,028	1,106

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-16 墨田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	38	25	16	26	25	20	42	21	23	23	23	23	22	14	18	18	18	17	22	19	17	15	15
製造業	402	285	216	171	144	162	162	142	132	141	162	161	144	145	119	155	150	140	128	124	117	93	101
産業部門	440	311	231	197	169	182	204	163	155	164	185	184	166	159	136	173	168	157	150	143	134	107	116
家庭	257	278	274	314	290	351	341	331	344	374	413	406	389	373	373	384	365	354	364	381	364	331	364
業務	150	202	267	275	300	368	386	329	340	362	425	420	400	362	374	331	328	315	290	297	301	300	333
民生部門	407	480	541	589	590	719	727	661	684	736	838	825	789	735	748	714	693	669	653	679	665	631	696
自動車	353	405	421	351	344	323	310	308	244	243	229	223	222	212	179	172	171	166	153	157	155	147	147
鉄道	41	25	24	30	28	35	35	31	32	37	44	43	41	41	40	39	39	38	36	36	35	34	38
運輸部門	394	430	445	381	372	358	345	339	275	280	272	267	263	253	219	211	210	203	190	193	190	181	185
廃棄物部門	17	17	15	17	17	19	24	28	33	33	34	36	35	36	36	39	39	42	41	40	41	39	39
合計	1,257	1,238	1,232	1,184	1,149	1,277	1,299	1,192	1,147	1,213	1,330	1,312	1,252	1,183	1,140	1,138	1,110	1,071	1,034	1,056	1,029	959	1,037

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

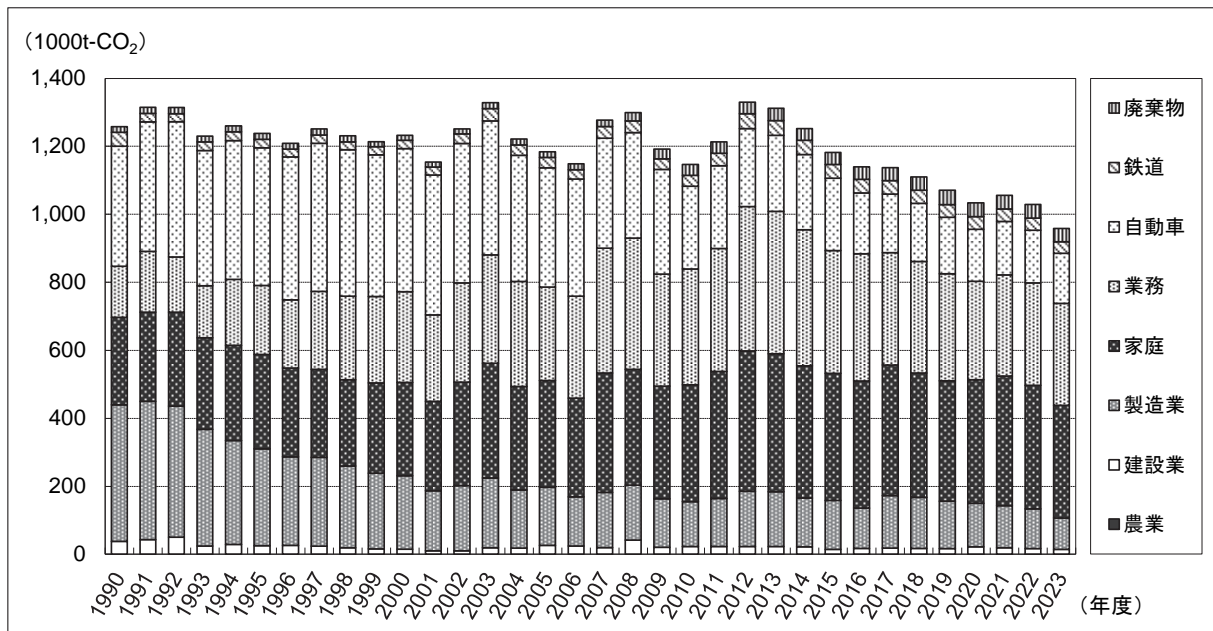


図 I-8 墨田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

9. 江東区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-17 江東区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,164	2,164	2,151	2,225	2,517	2,441	2,869	3,003	2,752	2,840	3,049	3,375	3,360	3,103	2,922	2,823	2,820	2,805	2,710	2,626	2,718	2,662	2,532	2,766
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	17	17	17	17	15	14	14	13	12	11	10	10	10	9	10	9	9	9	9	9	8	7	8	8
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	8		8	19	19	16	45	56	65	73	83	97	129	146	164	182	204	218	233	241	254	219	148	148
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	0	2	2
三ふっ化窒素 (NF ₃)	1													1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,195	2,183	2,182	2,265	2,555	2,475	2,931	3,076	2,833	2,927	3,146	3,486	3,504	3,263	3,099	3,019	3,037	3,036	2,956	2,880	2,985	2,892	2,692	2,926

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-18 江東区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}	
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	70	83	62	85	76	85	81	83	84	54	69	77	60	30	52	58	55	64	33	29	33	38	40	40
製造業	664	394	367	242	211	253	235	214	211	213	253	236	191	193	180	188	178	162	189	199	211	164	181	181
産業部門	734	477	429	327	286	338	315	296	294	267	322	313	251	222	233	247	233	225	223	228	245	202	221	221
家庭	404	428	438	534	498	593	584	576	599	654	717	713	681	664	657	673	640	626	650	676	638	579	633	633
業務	558	721	776	1,138	1,156	1,451	1,615	1,403	1,414	1,564	1,789	1,790	1,641	1,514	1,478	1,444	1,473	1,415	1,339	1,390	1,358	1,314	1,469	1,469
民生部門	962	1,149	1,215	1,672	1,654	2,044	2,200	1,980	2,013	2,218	2,506	2,503	2,322	2,178	2,135	2,118	2,113	2,040	1,989	2,066	1,997	1,893	2,102	2,102
自動車	407	477	527	444	436	410	401	389	433	455	429	423	415	405	342	337	338	318	293	301	298	314	314	314
鉄道	36	22	24	36	34	44	44	38	40	48	55	55	53	53	51	50	50	47	45	46	45	47	54	54
運輸部門	442	498	552	480	471	453	445	427	474	504	484	479	468	458	392	387	388	365	338	347	343	362	368	368
廃棄物部門	25	26	30	39	30	33	43	49	59	60	62	66	62	64	64	68	71	79	76	77	78	75	75	75
合計	2,164	2,151	2,225	2,517	2,441	2,869	3,003	2,752	2,840	3,049	3,375	3,360	3,103	2,922	2,823	2,820	2,805	2,710	2,626	2,718	2,662	2,532	2,766	2,766

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

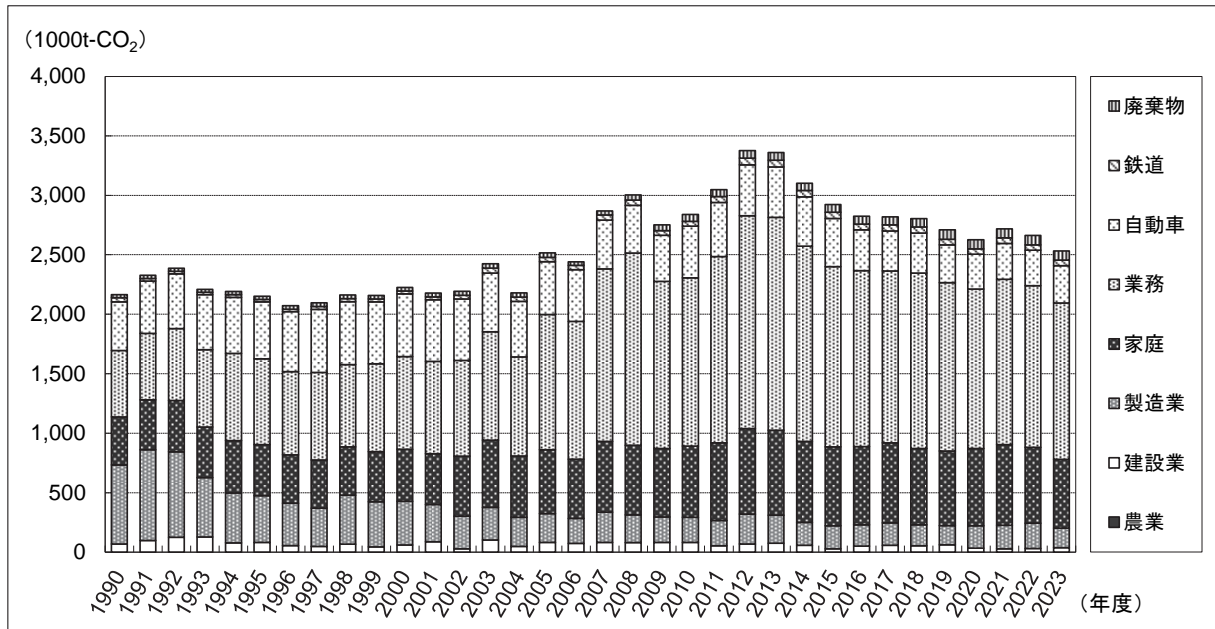


図 I-9 江東区における部門別二酸化炭素排出量の推移

10. 品川区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-19 品川区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,653	1,653	1,862	1,892	1,996	1,911	2,180	2,170	2,068	2,076	2,215	2,253	2,219	2,091	2,037	1,928	1,922	1,896	1,838	1,777	1,771	1,754	1,634	1,779
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	14	14	15	14	12	11	11	10	10	8	8	7	7	6	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	9		9	20	19	16	46	54	63	69	77	89	117	132	149	164	182	195	206	217	222	190	127	127
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	3		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
六ふッ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふッ化窒素 (NF ₃)	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,686	1,670	1,895	1,930	2,029	1,941	2,239	2,238	2,143	2,157	2,303	2,353	2,346	2,232	2,198	2,101	2,114	2,100	2,054	2,005	2,003	1,952	1,770	1,915

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-20 品川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	59	36	26	48	43	47	34	58	45	28	46	28	46	30	40	29	33	20	41	30	45	19	20
製造業	280	200	109	219	202	214	199	191	180	213	58	52	48	45	46	41	39	38	40	45	41	32	36
産業部門	339	236	135	267	245	261	234	249	225	241	104	80	93	75	86	70	72	58	81	75	86	52	56
家庭	383	402	403	470	432	523	507	492	512	558	611	600	571	552	548	562	537	525	553	558	538	483	528
業務	523	761	863	839	824	978	1,013	921	933	971	1,097	1,096	999	914	888	886	886	858	779	767	762	737	821
民生部門	906	1,162	1,266	1,308	1,255	1,501	1,520	1,412	1,444	1,528	1,707	1,696	1,570	1,466	1,436	1,447	1,424	1,383	1,331	1,324	1,300	1,220	1,349
自動車	320	372	407	311	305	287	279	272	268	289	272	268	262	329	242	238	233	229	210	221	220	222	222
鉄道	65	68	66	90	82	105	104	95	93	110	121	124	117	116	113	112	110	106	96	92	89	86	97
運輸部門	384	440	473	401	388	391	383	367	361	399	393	392	380	445	355	350	344	336	306	313	309	308	319
廃棄物部門	23	24	19	20	24	26	34	39	46	46	48	50	48	50	51	54	56	61	58	58	55	55	55
合計	1,653	1,862	1,892	1,996	1,911	2,180	2,170	2,068	2,076	2,215	2,253	2,219	2,091	2,037	1,928	1,922	1,896	1,838	1,777	1,771	1,754	1,634	1,779

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

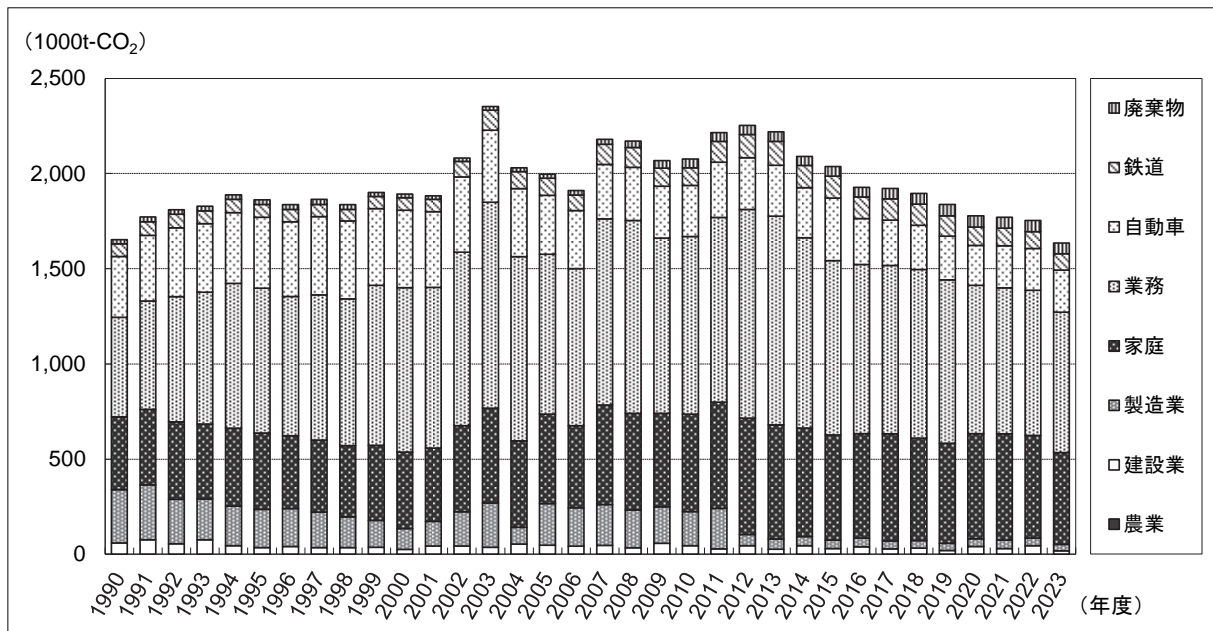


図 I-10 品川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

11. 目黒区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-21 目黒区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
二酸化炭素 (CO ₂)	986	986	1,075	1,092	1,104	1,059	1,210	1,183	1,117	1,087	1,118	1,187	1,179	1,109	1,105	1,048	1,061	1,010	975	956	948	942	864	936
メタン (CH ₄)	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	11	11	12	11	9	9	8	8	7	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	5		5	12	12	10	25	28	32	32	35	40	52	58	65	70	81	85	89	93	96	83	60	60
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	3		3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,009	998	1,098	1,117	1,126	1,080	1,245	1,221	1,158	1,126	1,160	1,233	1,238	1,173	1,176	1,125	1,148	1,101	1,070	1,055	1,050	1,030	929	1,001

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-22 目黒区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	39	32	23	20	24	25	21	17	36	25	19	20	18	16	16	18	17	15	17	14	18	14	15
製造業	51	31	34	21	18	24	20	18	15	20	19	22	16	16	17	16	15	14	12	13	12	9	10
産業部門	91	63	57	42	43	49	41	35	51	45	38	42	34	32	33	34	33	29	29	28	30	23	24
家庭	311	339	347	400	368	429	411	397	410	441	484	478	453	435	432	444	421	408	427	429	412	368	403
業務	298	347	349	361	351	445	452	404	404	416	458	454	419	401	390	386	367	350	324	313	325	301	335
民生部門	608	685	696	762	719	875	864	801	815	857	942	932	871	835	822	831	788	758	751	743	737	670	738
自動車	259	298	313	273	268	251	238	241	174	166	158	152	153	185	142	142	136	132	122	124	122	121	121
鉄道	13	12	12	15	13	18	18	16	16	18	17	18	17	17	17	16	16	15	14	14	13	13	14
運輸部門	272	311	325	288	281	269	256	257	190	184	175	170	170	203	159	159	152	147	136	138	135	134	135
廃棄物部門	15	16	13	13	16	18	22	25	30	31	32	35	33	34	34	37	38	41	40	40	40	38	38
合計	986	1,075	1,092	1,104	1,059	1,210	1,183	1,117	1,087	1,118	1,187	1,179	1,109	1,105	1,048	1,061	1,010	975	956	948	942	864	936

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

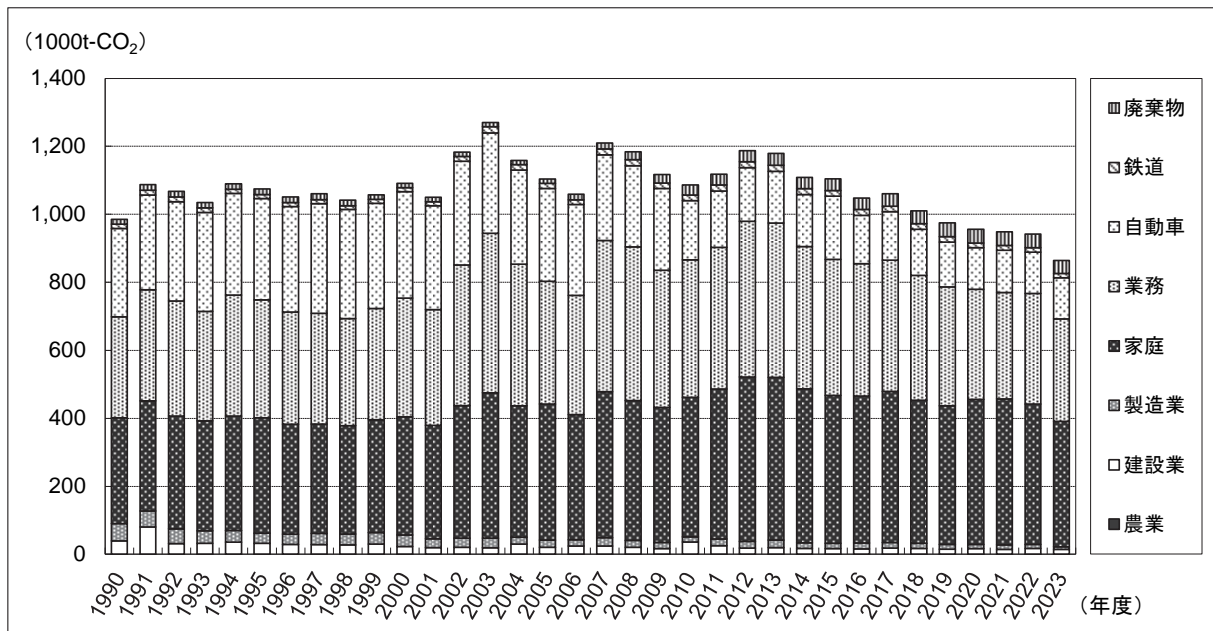


図 I-11 目黒区における部門別二酸化炭素排出量の推移

12. 大田区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-23 大田区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,869	2,869	3,019	3,056	3,069	2,906	3,222	3,172	2,960	2,935	3,153	3,334	3,307	3,154	3,027	2,925	2,958	2,911	2,786	2,679	2,722	2,670	2,512	2,719
メタン (CH ₄)	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	4	4	3	3	3	3	4	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	27	27	28	27	22	22	21	19	18	15	13	13	12	12	13	12	12	11	11	11	10	9	9	9
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	15		15	33	30	24	55	64	74	80	87	98	129	144	159	174	201	210	220	231	237	207	153	153
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	11		11	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	8		8	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2
三ふっ化窒素 (NF ₃)	1													1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,935	2,900	3,085	3,124	3,125	2,957	3,302	3,261	3,057	3,034	3,259	3,452	3,455	3,316	3,205	3,117	3,177	3,137	3,023	2,926	2,974	2,891	2,680	2,886

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-24 大田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}	
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	124	94	59	53	65	53	62	58	64	82	59	56	47	63	49	58	66	38	36	54	36	38	40	40
製造業	650	487	372	313	277	357	352	290	239	254	280	265	223	220	230	219	214	208	183	219	248	196	216	216
産業部門	774	581	432	367	342	410	414	348	303	336	339	321	271	283	279	277	280	247	219	274	284	234	257	257
家庭	720	781	785	889	818	957	924	893	923	1,007	1,095	1,081	1,028	988	979	1,003	954	927	963	973	936	843	921	921
業務	656	820	908	1,027	973	1,109	1,094	987	1,043	1,119	1,232	1,240	1,207	1,120	1,087	1,097	1,110	1,052	973	945	924	908	1,008	1,008
民生部門	1,375	1,601	1,693	1,916	1,790	2,066	2,018	1,880	1,967	2,126	2,327	2,320	2,235	2,108	2,066	2,100	2,064	1,979	1,936	1,918	1,861	1,751	1,929	1,929
自動車	638	749	851	699	686	643	623	613	533	550	520	509	500	485	429	425	409	395	365	374	371	381	381	381
鉄道	41	46	43	49	44	55	54	50	48	56	61	64	61	60	59	58	58	55	51	49	48	46	52	52
運輸部門	679	795	894	748	730	699	677	662	582	607	581	573	562	545	488	483	467	450	417	424	419	428	434	434
廃棄物部門	41	42	37	38	43	48	63	70	83	84	87	92	87	91	92	98	100	110	108	106	106	100	100	100
合計	2,869	3,019	3,056	3,069	2,906	3,222	3,172	2,960	2,935	3,153	3,334	3,307	3,154	3,027	2,925	2,958	2,911	2,786	2,679	2,722	2,670	2,512	2,719	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

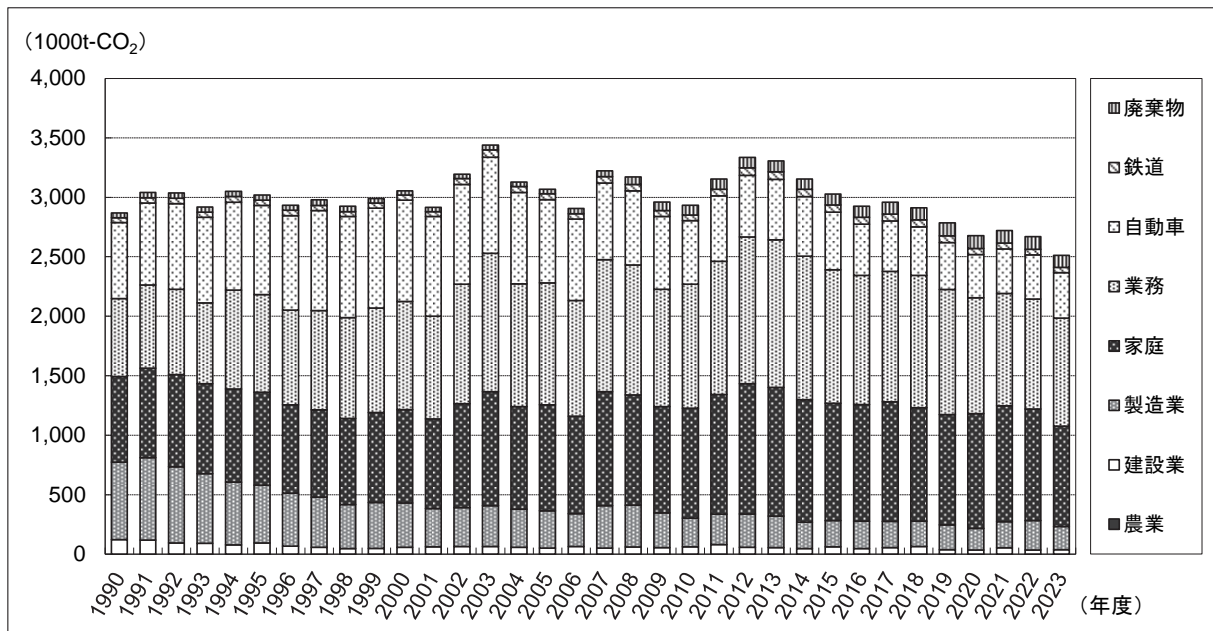


図 I-12 大田区における部門別二酸化炭素排出量の推移

13. 世田谷区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-25 世田谷区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,522	2,522	2,784	2,829	2,826	2,710	3,030	2,997	2,871	2,840	2,964	3,144	3,081	2,927	2,775	2,671	2,733	2,637	2,528	2,517	2,529	2,456	2,296	2,476
メタン (CH ₄)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
一酸化二窒素 (N ₂ O)	32	32	34	31	26	25	24	22	21	16	14	14	13	12	13	12	12	11	11	11	11	9	9	9
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	11		11	29	32	26	62	72	82	87	93	105	138	156	172	193	223	234	245	254	261	228	171	171
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	2,575	2,559	2,839	2,895	2,888	2,767	3,121	3,097	2,979	2,948	3,076	3,268	3,238	3,101	2,965	2,880	2,974	2,887	2,789	2,788	2,807	2,699	2,483	2,662

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-26 世田谷区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}	
農業	2	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	117	86	56	72	86	73	79	77	95	79	85	63	54	58	50	65	54	41	48	55	44	38	40	40
製造業	59	45	55	33	29	30	24	23	20	17	24	24	22	22	22	21	20	18	20	19	18	13	15	15
産業部門	178	134	114	108	119	106	106	103	118	99	112	90	80	83	75	90	77	61	70	76	64	54	57	57
家庭	924	1,027	1,071	1,223	1,116	1,311	1,258	1,217	1,261	1,364	1,478	1,463	1,381	1,323	1,315	1,356	1,281	1,245	1,307	1,322	1,264	1,126	1,230	1,230
業務	505	588	595	608	606	778	813	727	736	797	877	858	805	726	716	717	725	674	620	605	611	610	677	677
民生部門	1,429	1,615	1,665	1,831	1,722	2,089	2,071	1,945	1,997	2,161	2,355	2,321	2,186	2,049	2,031	2,073	2,006	1,919	1,927	1,927	1,875	1,736	1,907	1,907
自動車	828	949	969	801	786	738	707	705	593	563	531	517	516	493	417	418	398	384	357	365	359	356	356	356
鉄道	45	37	36	41	37	46	45	41	40	47	49	50	48	48	45	44	45	42	40	40	39	36	41	41
運輸部門	873	986	1,006	842	827	784	752	746	633	610	580	567	563	541	462	463	443	427	396	405	398	392	397	397
廃棄物部門	42	50	44	45	47	51	67	77	93	94	97	103	98	102	108	111	121	121	123	121	119	115	115	115
合計	2,522	2,784	2,829	2,826	2,710	3,030	2,997	2,871	2,840	2,964	3,144	3,081	2,927	2,775	2,671	2,733	2,637	2,528	2,517	2,529	2,456	2,296	2,476	2,476

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

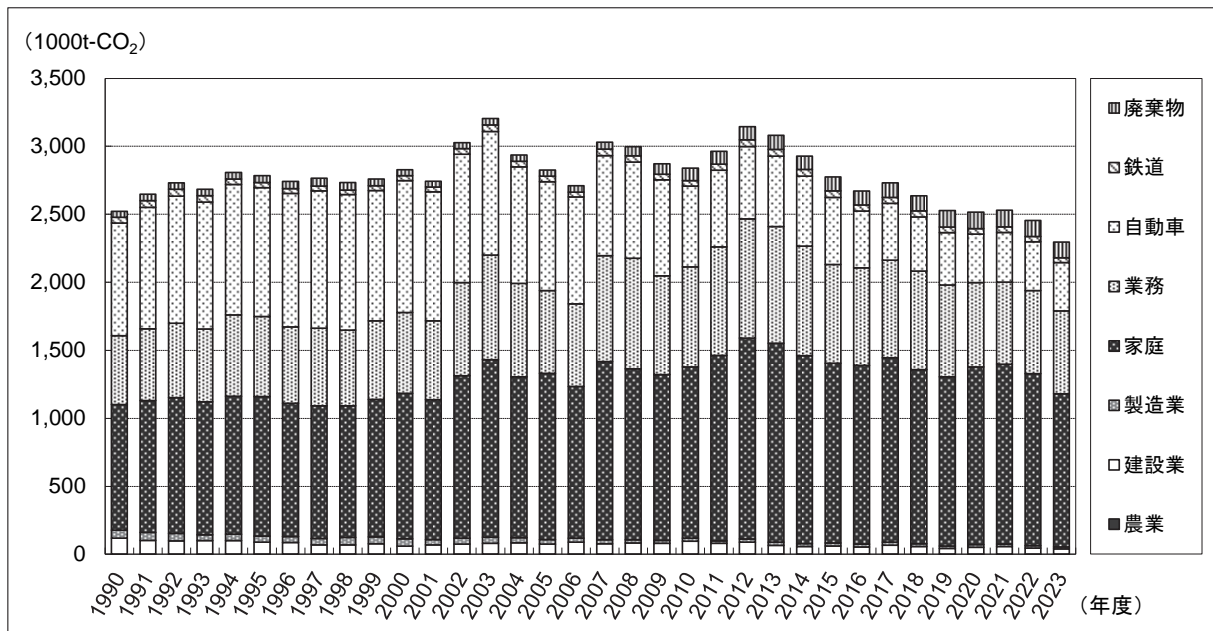


図 I-13 世田谷区における部門別二酸化炭素排出量の推移

14. 渋谷区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-27 渋谷区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,647	1,647	1,979	1,943	2,141	2,065	2,348	2,325	2,149	2,130	2,233	2,476	2,468	2,336	2,188	2,128	2,116	2,047	1,942	1,773	1,796	1,803	1,714	1,878
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	15	15	15	14	11	12	11	10	10	7	6	6	6	5	6	5	6	5	5	5	5	4	4	4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	10		10	24	22	18	54	63	70	76	85	98	131	149	165	182	197	208	220	234	254	215	131	131
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,679	1,663	2,012	1,983	2,176	2,098	2,416	2,401	2,231	2,215	2,328	2,583	2,608	2,494	2,362	2,318	2,322	2,263	2,170	2,015	2,057	2,024	1,852	2,016

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-28 渋谷区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}	
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	68	29	27	35	33	30	44	36	44	24	25	23	44	24	32	44	24	31	26	45	21	13	14	14
製造業	31	23	18	8	6	9	7	5	5	8	8	5	4	4	4	3	4	3	7	12	18	8	9	9
産業部門	99	52	45	43	40	39	51	41	49	32	33	27	49	28	35	48	27	34	32	57	39	21	22	22
家庭	312	324	341	394	370	441	420	402	416	455	505	503	472	455	450	457	431	416	424	436	418	376	413	413
業務	741	1,049	1,003	1,181	1,143	1,333	1,334	1,202	1,208	1,255	1,438	1,442	1,331	1,230	1,200	1,175	1,155	1,069	946	922	963	946	1,051	1,051
民生部門	1,053	1,373	1,343	1,575	1,514	1,774	1,754	1,604	1,624	1,710	1,942	1,944	1,803	1,685	1,650	1,632	1,586	1,484	1,369	1,357	1,381	1,322	1,465	1,465
自動車	332	380	386	339	332	313	299	299	246	253	237	230	231	221	196	189	188	183	167	173	172	167	167	167
鉄道	144	154	152	170	155	194	185	164	163	191	214	212	202	199	190	187	186	176	150	155	155	148	168	168
運輸部門	475	534	538	509	487	507	484	463	409	443	450	443	433	420	386	376	374	358	318	328	327	315	335	335
廃棄物部門	20	21	16	14	25	28	37	41	48	48	50	54	52	55	56	60	60	65	54	54	57	56	56	56
合計	1,647	1,979	1,943	2,141	2,065	2,348	2,325	2,149	2,130	2,233	2,476	2,468	2,336	2,188	2,128	2,116	2,047	1,942	1,773	1,796	1,803	1,714	1,878	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

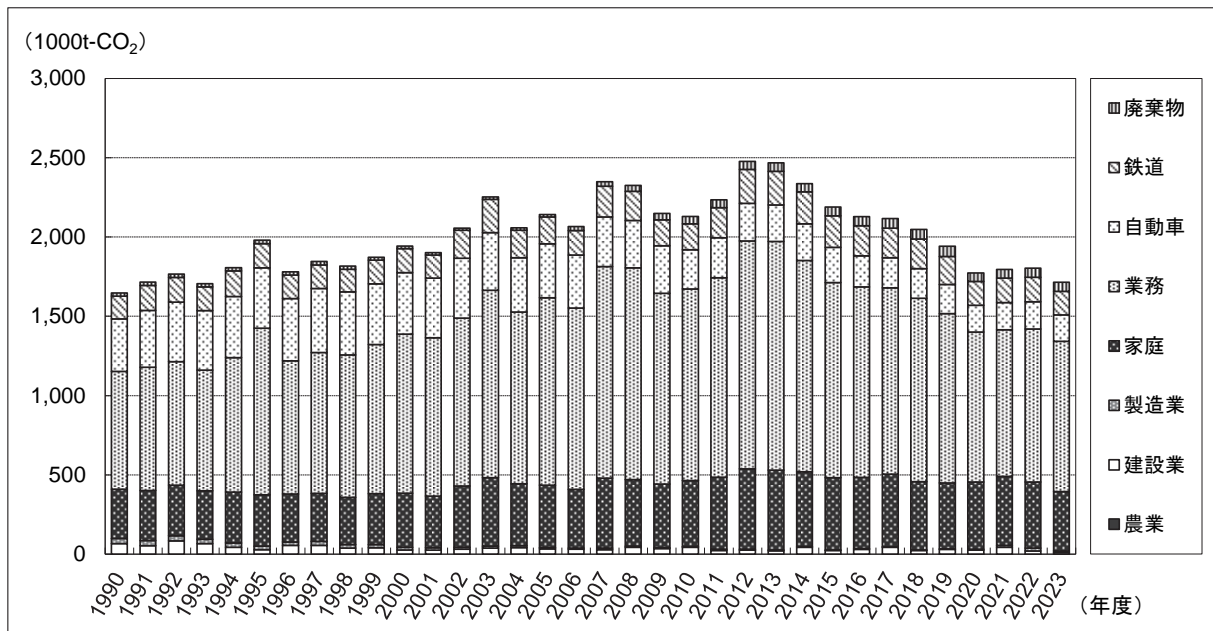


図 I-14 渋谷区における部門別二酸化炭素排出量の推移

15. 中野区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-29 中野区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
二酸化炭素 (CO ₂)	835	835	898	902	925	856	982	981	908	954	980	1,062	1,059	999	938	913	931	899	872	866	878	850	791	858
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	9	9	9	9	7	7	7	6	6	5	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	5		5	13	13	10	23	27	30	32	34	38	52	59	64	70	83	87	91	94	96	85	67	67
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	853	845	916	926	947	874	1,013	1,015	945	993	1,019	1,105	1,117	1,063	1,009	989	1,020	991	968	965	979	940	863	930

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-30 中野区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1)}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	40	30	16	25	20	15	21	18	62	26	25	23	17	15	18	21	19	19	23	18	22	14	15
製造業	23	17	13	11	8	9	8	8	7	8	7	7	6	6	5	5	6	5	4	5	5	4	4
産業部門	62	47	29	36	27	24	29	26	69	34	32	30	23	20	23	27	25	24	27	23	27	18	19
家庭	362	389	391	444	394	470	452	436	451	489	531	526	497	474	473	487	460	451	466	473	453	409	447
業務	202	227	242	235	231	287	302	246	245	268	310	316	295	264	256	253	256	242	226	232	225	221	245
民生部門	565	616	633	679	625	757	754	682	696	757	841	842	792	738	729	740	716	693	691	705	677	630	692
自動車	167	192	200	167	164	154	146	147	131	127	121	117	117	112	95	96	90	87	80	82	81	81	81
鉄道	24	24	24	25	23	29	28	25	25	30	34	35	34	33	32	32	31	30	29	29	27	26	29
運輸部門	191	216	223	192	187	182	174	172	157	157	155	152	151	145	127	128	121	117	109	111	108	107	110
廃棄物部門	16	18	17	17	17	18	24	27	32	32	33	36	33	35	35	37	37	39	39	39	38	37	37
合計	835	898	902	925	856	982	981	908	954	980	1,062	1,059	999	938	913	931	899	872	866	878	850	791	858

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

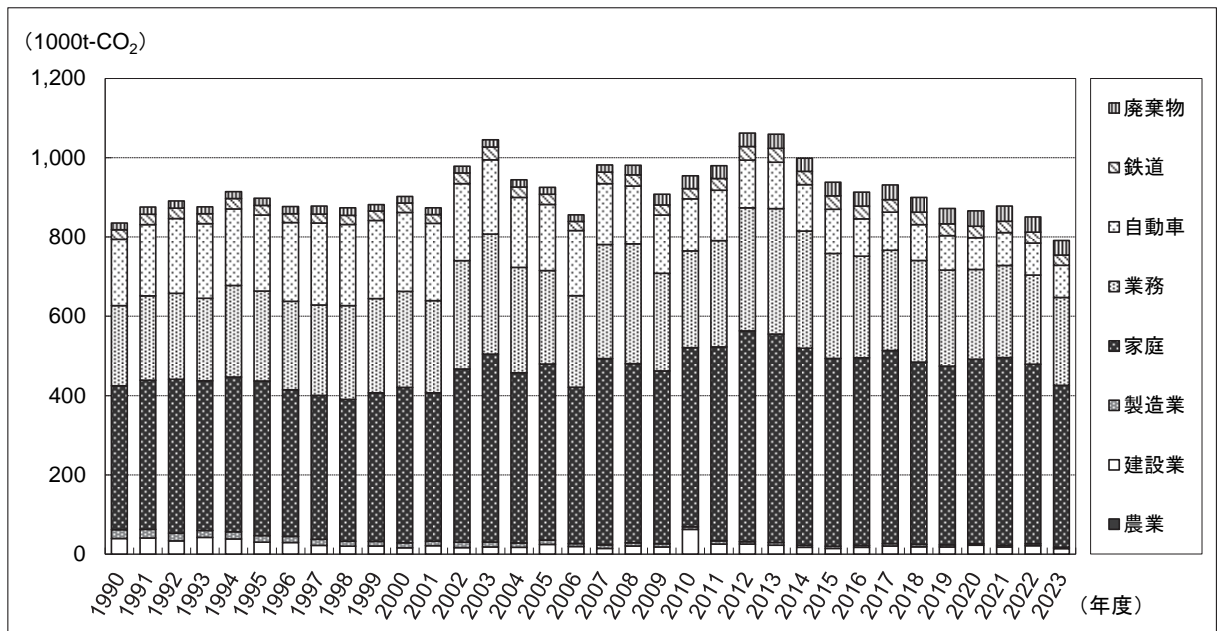


図 I-15 中野区における部門別二酸化炭素排出量の推移

16. 杉並区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-31 杉並区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,492	1,492	1,638	1,654	1,693	1,600	1,766	1,726	1,653	1,623	1,682	1,791	1,760	1,678	1,600	1,548	1,575	1,511	1,461	1,466	1,483	1,436	1,320	1,422
メタン (CH ₄)	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	2	2	3	2	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	19	19	20	18	15	15	14	13	12	9	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	8		8	21	21	17	36	42	48	51	53	59	78	87	96	104	124	129	135	140	144	127	101	101
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0														0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,525	1,514	1,672	1,696	1,732	1,634	1,819	1,784	1,716	1,686	1,746	1,861	1,848	1,775	1,706	1,662	1,709	1,649	1,604	1,616	1,636	1,571	1,430	1,532

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-32 杉並区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	67	52	33	33	38	35	34	38	39	36	40	35	38	29	24	31	29	24	28	32	28	23	24
製造業	52	47	24	12	10	9	9	8	7	9	9	8	7	7	7	8	9	7	18	16	7	6	6
産業部門	119	100	58	46	48	45	44	47	48	46	50	45	46	37	31	40	39	32	46	49	36	29	31
家庭	620	672	679	766	698	821	788	763	790	851	921	907	857	819	815	843	792	772	808	820	780	698	762
業務	263	303	322	373	354	418	423	370	371	379	425	418	390	372	372	364	357	340	309	307	318	296	328
民生部門	883	974	1,001	1,139	1,052	1,239	1,211	1,133	1,161	1,230	1,346	1,325	1,247	1,191	1,188	1,206	1,150	1,111	1,117	1,126	1,098	993	1,090
自動車	432	501	541	451	442	415	397	397	330	316	298	290	291	277	235	232	223	215	200	206	203	203	203
鉄道	32	32	29	32	29	35	34	30	30	35	41	41	39	38	37	36	36	34	35	34	33	31	35
運輸部門	464	533	570	483	471	451	431	427	360	352	339	332	330	316	272	268	259	250	235	241	236	234	238
廃棄物部門	27	30	25	25	29	31	40	45	55	55	56	59	55	57	57	61	63	68	68	68	66	63	63
合計	1,492	1,638	1,654	1,693	1,600	1,766	1,726	1,653	1,623	1,682	1,791	1,760	1,678	1,600	1,548	1,575	1,511	1,461	1,466	1,483	1,436	1,320	1,422

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

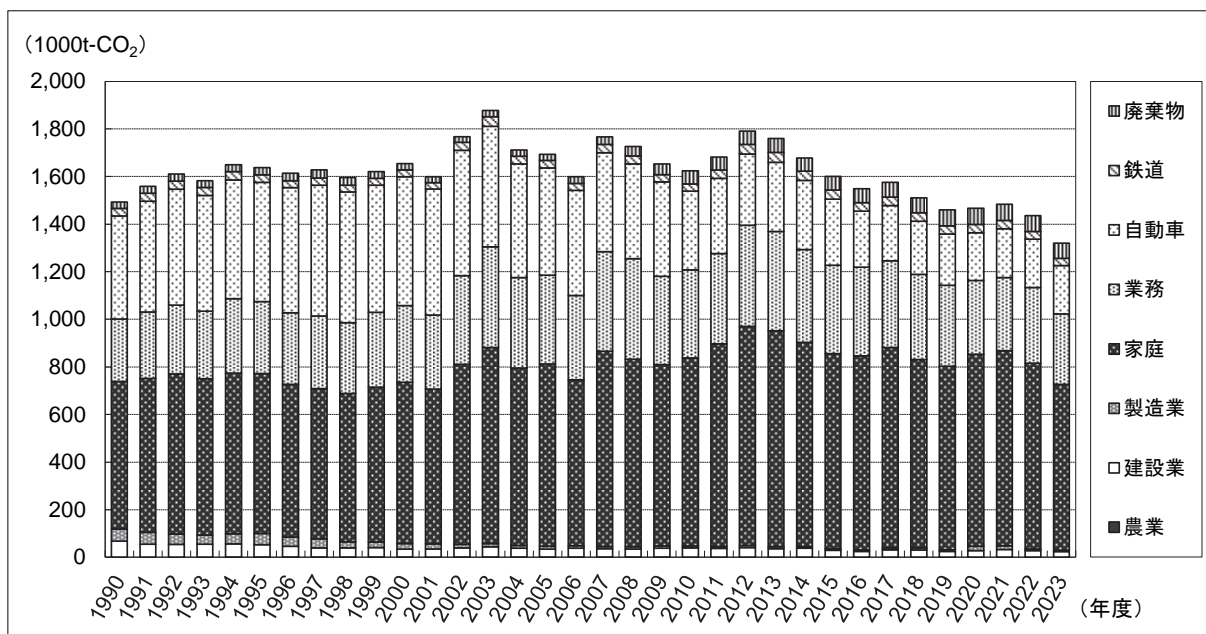


図 I-16 杉並区における部門別二酸化炭素排出量の推移

17. 豊島区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-33 豊島区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,332	1,332	1,430	1,416	1,488	1,420	1,612	1,602	1,481	1,476	1,557	1,713	1,697	1,606	1,515	1,473	1,468	1,416	1,339	1,257	1,283	1,279	1,198	1,310
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	1	1	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	12	12	13	13	11	9	8	8	7	6	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	8		8	19	16	13	38	44	52	58	63	72	96	112	123	136	150	158	165	173	182	156	103	103
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	1,357	1,346	1,456	1,450	1,517	1,444	1,660	1,656	1,542	1,542	1,627	1,792	1,800	1,725	1,646	1,616	1,625	1,580	1,510	1,436	1,472	1,440	1,307	1,419

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-34 豊島区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	39	26	19	20	22	18	38	23	32	27	30	22	16	18	19	19	21	16	19	18	25	15	16
製造業	56	46	31	19	18	19	16	16	15	20	20	17	14	14	11	11	10	9	15	16	15	10	11
産業部門	95	72	50	40	40	38	55	39	47	47	50	39	30	32	30	30	31	25	34	34	40	25	27
家庭	332	353	341	389	359	424	409	394	414	454	499	499	472	446	442	454	428	414	419	431	415	377	413
業務	515	573	589	653	651	764	765	684	683	707	804	802	757	699	687	670	651	603	530	541	549	531	590
民生部門	847	926	930	1,043	1,010	1,188	1,174	1,079	1,097	1,161	1,303	1,301	1,229	1,145	1,129	1,124	1,079	1,016	949	972	964	908	1,003
自動車	228	261	277	236	231	217	207	209	173	169	159	155	155	148	129	127	123	119	110	113	111	109	109
鉄道	134	139	121	130	117	146	136	121	119	139	159	157	149	144	139	137	134	127	117	119	116	110	124
運輸部門	362	401	399	366	348	363	343	330	292	304	319	313	304	293	268	264	257	246	228	232	227	218	233
廃棄物部門	28	31	37	40	21	23	31	35	40	40	41	44	44	46	46	50	49	52	46	46	48	46	46
合計	1,332	1,430	1,416	1,488	1,420	1,612	1,602	1,481	1,476	1,557	1,713	1,697	1,606	1,515	1,473	1,468	1,416	1,339	1,257	1,283	1,279	1,198	1,310

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

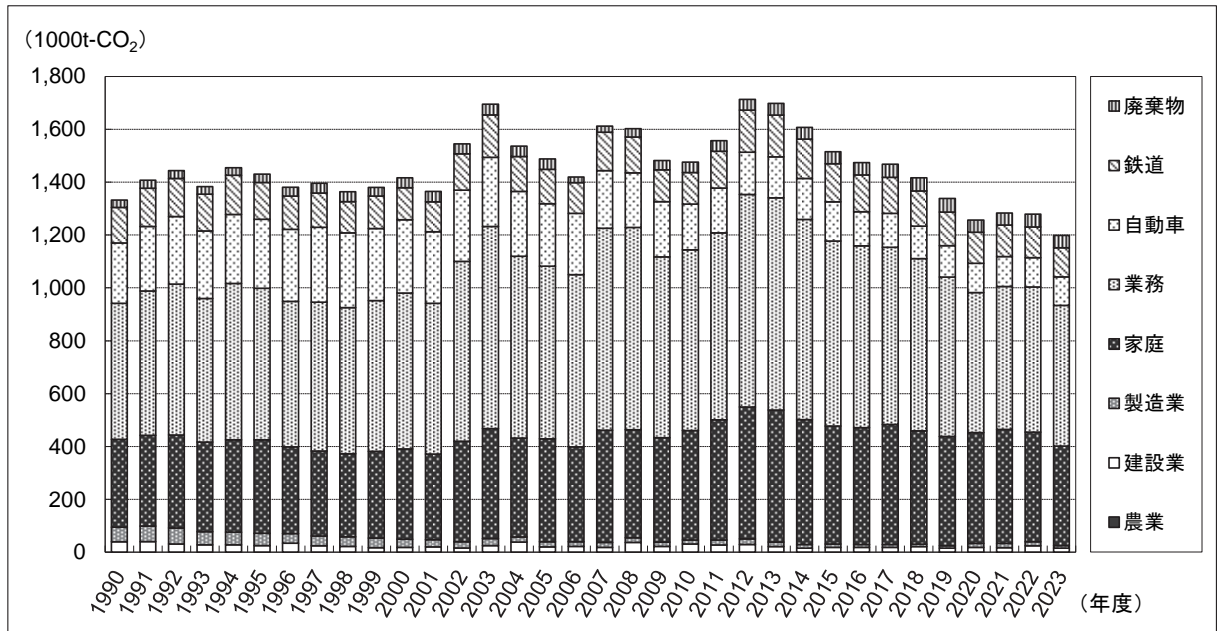


図 I-17 豊島区における部門別二酸化炭素排出量の推移

18. 北区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-35 北区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,129	1,129	1,168	1,107	1,135	1,068	1,180	1,164	1,097	1,097	1,142	1,229	1,211	1,151	1,128	1,101	1,126	1,133	1,061	1,058	1,069	1,054	950	1,032
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	11	11	11	10	8	8	8	7	7	6	5	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	6		6	15	14	11	24	28	32	34	36	41	55	61	66	74	87	91	95	97	100	88	67	67
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふッ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
三ふッ化窒素 (NF ₃)	1												1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,151	1,142	1,189	1,134	1,159	1,089	1,214	1,201	1,138	1,138	1,185	1,276	1,272	1,219	1,201	1,181	1,219	1,229	1,163	1,161	1,174	1,148	1,023	1,104

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-36 北区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	38	33	16	24	38	20	24	24	34	29	29	25	26	25	23	21	24	21	31	18	20	15	16
製造業	241	171	144	112	97	97	91	72	71	98	88	89	80	77	64	58	58	54	49	51	49	42	45
産業部門	279	204	160	136	135	117	115	97	105	127	117	113	106	102	87	79	82	75	79	69	69	57	61
家庭	358	380	373	417	381	448	431	418	431	466	509	502	477	453	452	465	440	430	442	453	433	390	427
業務	238	297	283	309	285	354	361	325	326	314	370	364	343	354	363	383	414	362	351	360	370	325	363
民生部門	596	677	656	727	666	802	792	742	757	780	878	867	820	806	815	848	854	793	793	812	803	716	789
自動車	204	233	244	224	220	206	197	197	168	164	155	150	150	144	124	122	119	114	106	108	106	106	106
鉄道	30	31	27	31	28	35	33	30	30	34	40	41	37	36	35	35	35	33	34	34	32	31	35
運輸部門	234	265	271	255	248	241	230	228	198	198	195	191	187	180	160	157	154	148	140	142	139	137	141
廃棄物部門	21	22	19	17	19	20	27	31	37	37	39	40	38	39	39	42	43	46	46	45	44	40	40
合計	1,129	1,168	1,107	1,135	1,068	1,180	1,164	1,097	1,097	1,142	1,229	1,211	1,151	1,128	1,101	1,126	1,133	1,061	1,058	1,069	1,054	950	1,032

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

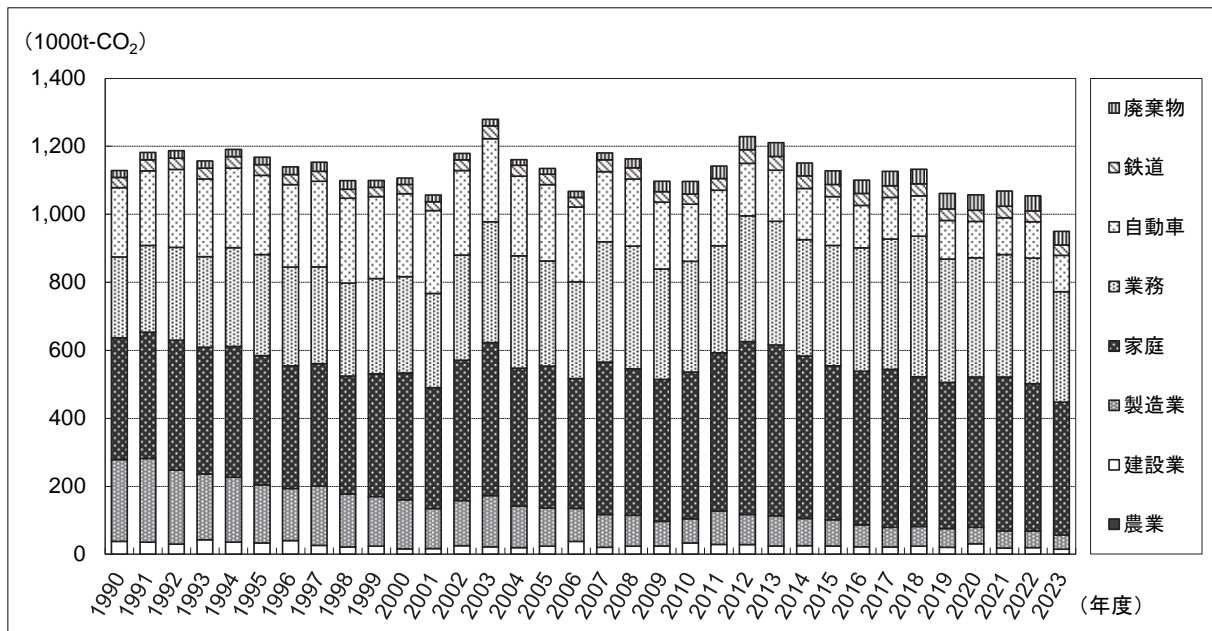


図 I-18 北区における部門別二酸化炭素排出量の推移

19. 荒川区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-37 荒川区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	676	676	703	687	710	649	755	738	689	659	691	746	733	700	667	648	652	629	604	600	609	593	593	647
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	7	7	7	6	5	5	5	5	4	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	6		6	12	9	7	14	17	19	19	20	23	31	35	38	42	49	51	53	54	56	49	38	38
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	691	684	718	707	726	662	775	760	713	683	716	773	768	739	709	694	705	684	661	657	669	646	635	688

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-38 荒川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	28	22	11	25	20	24	18	10	18	16	15	12	11	10	10	11	12	12	12	13	9	11	11
製造業	119	98	78	68	49	60	47	40	36	45	44	44	40	40	37	34	31	27	28	28	28	22	24
産業部門	147	120	89	92	70	84	65	50	53	60	59	56	51	50	47	46	43	39	40	41	37	33	35
家庭	209	221	217	257	224	269	261	255	262	286	314	311	295	279	276	284	270	262	270	277	266	241	263
業務	129	149	162	163	163	210	223	195	191	194	219	214	203	193	194	191	190	180	171	172	175	207	231
民生部門	339	370	378	420	387	479	484	450	454	480	533	525	498	472	470	475	460	441	441	449	440	448	494
自動車	145	165	176	152	149	140	132	134	94	87	83	79	80	76	64	65	61	59	55	56	54	54	54
鉄道	35	36	33	35	31	38	39	34	34	40	46	47	46	44	41	40	39	37	36	36	35	32	37
運輸部門	179	201	209	187	180	178	171	169	128	127	129	126	126	120	105	105	100	96	91	91	89	86	91
廃棄物部門	11	12	10	11	12	13	18	20	24	24	25	26	25	26	25	27	27	29	29	28	28	27	27
合計	676	703	687	710	649	755	738	689	659	691	746	733	700	667	648	652	629	604	600	609	593	593	647

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

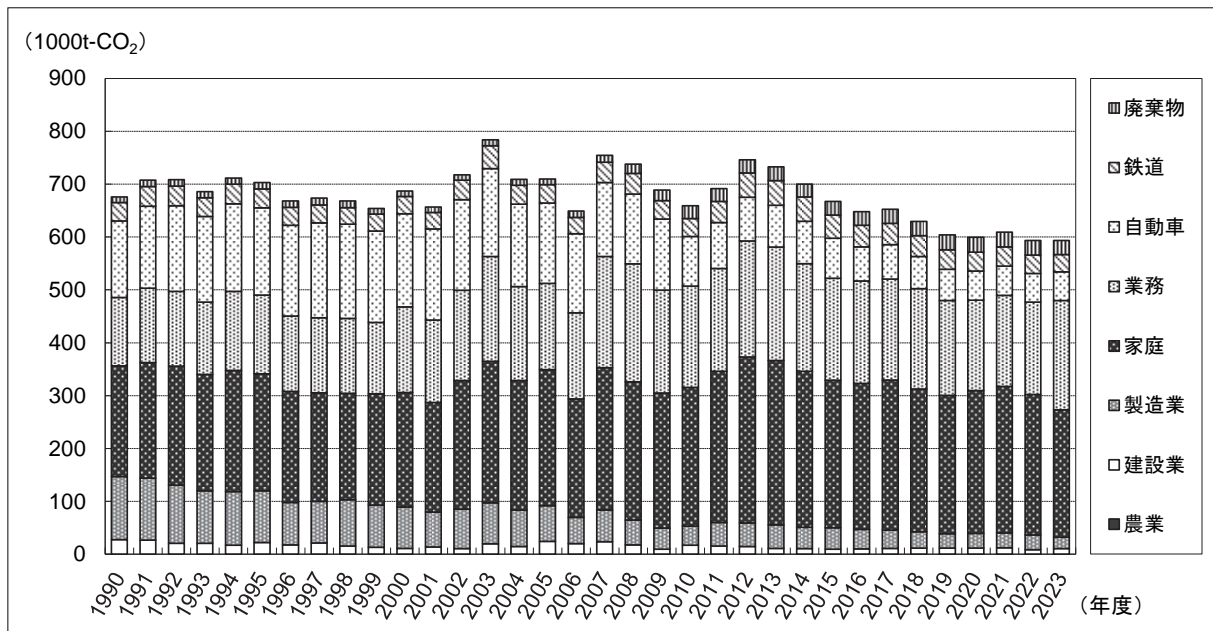


図 I-19 荒川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

20. 板橋区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-39 板橋区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,201	2,201	2,266	2,222	2,148	2,069	2,267	2,200	2,080	2,025	2,129	2,233	2,215	2,110	1,985	1,924	1,936	1,889	1,798	1,740	1,782	1,728	1,604	1,725
メタン (CH ₄)	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	23	23	23	22	17	17	16	15	14	11	10	9	9	8	9	8	8	8	8	8	7	6	6	6
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	11		11	24	22	18	38	44	50	56	60	68	90	101	111	122	142	148	154	158	162	142	109	109
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
六ふッ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふッ化窒素 (NF ₃)	1													1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,243	2,227	2,307	2,271	2,190	2,106	2,325	2,262	2,148	2,094	2,202	2,314	2,318	2,223	2,108	2,058	2,089	2,048	1,964	1,909	1,955	1,880	1,723	1,844

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-40 板橋区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}	
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
建設業	63	53	35	37	49	42	32	40	50	54	40	36	33	26	22	32	31	24	24	34	39	27	28	28
製造業	545	421	357	389	383	442	359	283	311	306	309	305	307	303	291	302	283	235	208	234	246	184	200	200
産業部門	609	476	393	427	434	484	392	323	362	361	350	342	341	330	313	335	314	260	232	266	286	212	229	229
家庭	561	601	596	672	617	721	694	674	699	756	823	820	770	738	733	752	714	692	714	733	697	630	688	688
業務	359	434	484	420	404	477	538	506	466	507	574	574	527	456	467	440	455	450	419	399	369	404	447	447
民生部門	921	1,035	1,080	1,092	1,021	1,197	1,233	1,180	1,164	1,264	1,397	1,394	1,297	1,194	1,199	1,193	1,169	1,142	1,133	1,132	1,066	1,034	1,135	1,135
自動車	625	707	704	579	568	532	510	509	419	422	397	387	386	371	324	317	313	300	277	284	280	268	268	268
鉄道	18	17	17	20	17	21	21	19	20	23	26	27	25	24	24	24	23	23	23	23	22	20	23	23
運輸部門	643	724	721	599	585	554	528	439	445	424	413	411	396	348	341	337	323	300	307	302	288	291	291	291
廃棄物部門	29	31	28	30	29	33	44	50	59	60	62	66	62	65	65	67	69	74	75	74	74	70	70	70
合計	2,201	2,266	2,222	2,148	2,069	2,267	2,200	2,080	2,025	2,129	2,233	2,215	2,110	1,985	1,924	1,936	1,889	1,798	1,740	1,782	1,728	1,604	1,725	1,725

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

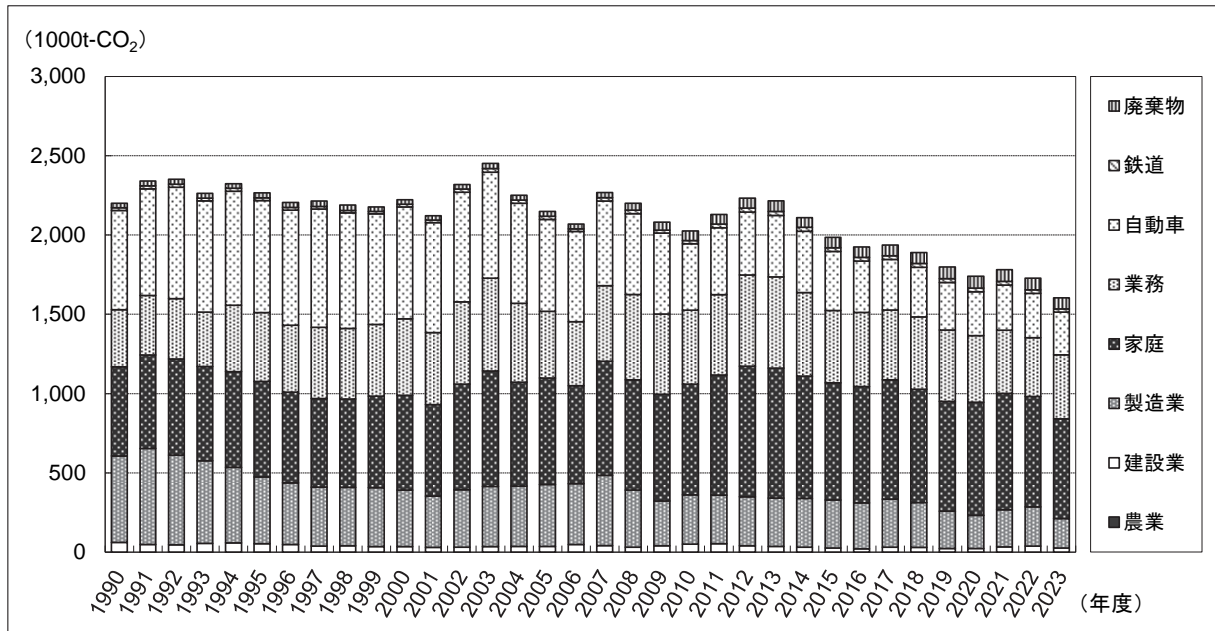


図 I-20 板橋区における部門別二酸化炭素排出量の推移

21. 練馬区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-41 練馬区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,714	1,714	1,925	1,971	1,978	1,877	2,077	2,063	1,991	1,959	2,046	2,173	2,165	2,052	1,900	1,835	1,872	1,807	1,757	1,770	1,778	1,732	1,602	1,727
メタン (CH ₄)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	22	22	23	22	18	18	17	16	15	11	10	9	9	8	9	8	8	8	8	8	7	7	6	6
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	9		9	23	24	19	43	50	57	60	63	71	94	106	114	125	148	155	163	165	167	148	117	117
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	1,751	1,739	1,963	2,020	2,024	1,917	2,140	2,132	2,066	2,034	2,122	2,257	2,273	2,170	2,027	1,972	2,032	1,974	1,931	1,946	1,957	1,891	1,730	1,855

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-42 練馬区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	3	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	77	67	42	52	46	41	44	46	56	48	43	51	39	34	31	43	40	28	34	41	29	31	33
製造業	80	61	53	41	38	43	40	39	39	50	43	46	37	38	40	34	35	31	27	30	31	23	25
産業部門	160	132	100	97	89	88	89	89	99	102	90	102	80	76	74	81	78	63	64	74	63	57	61
家庭	665	757	769	880	815	946	911	885	921	989	1,070	1,065	1,001	947	942	970	916	895	950	965	920	825	899
業務	287	341	369	378	362	455	492	437	452	480	550	541	519	439	436	437	430	429	399	375	397	381	423
民生部門	952	1,098	1,138	1,258	1,177	1,402	1,403	1,323	1,372	1,468	1,620	1,606	1,520	1,386	1,378	1,407	1,346	1,324	1,349	1,340	1,317	1,205	1,322
自動車	551	635	677	560	549	515	488	493	390	372	352	342	342	325	271	269	267	248	233	242	235	228	228
鉄道	19	23	24	29	26	33	33	31	31	36	41	41	39	39	38	37	37	36	35	35	33	30	34
運輸部門	571	658	701	589	575	548	522	523	421	407	393	383	381	364	309	306	304	283	268	277	267	258	262
廃棄物部門	32	37	32	34	36	39	50	56	67	68	70	74	71	74	74	78	79	87	89	87	85	82	82
合計	1,714	1,925	1,971	1,978	1,877	2,077	2,063	1,991	1,959	2,046	2,173	2,165	2,052	1,900	1,835	1,872	1,807	1,757	1,770	1,778	1,732	1,602	1,727

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

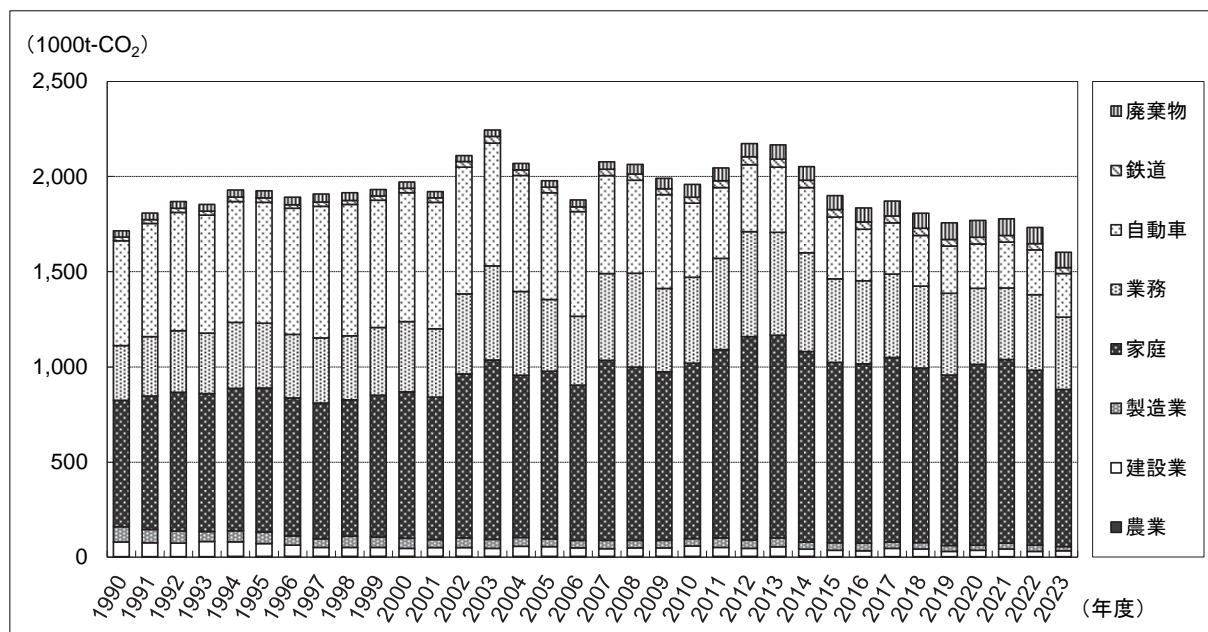


図 I-21 練馬区における部門別二酸化炭素排出量の推移

22. 足立区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-43 足立区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,659	2,659	2,583	2,484	2,440	2,317	2,510	2,452	2,342	2,317	2,423	2,563	2,558	2,427	2,287	2,187	2,202	2,146	2,066	2,030	2,098	2,038	1,891	2,037
メタン (CH ₄)	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	30	30	31	29	25	22	21	19	19	14	13	12	12	11	11	10	11	10	10	10	9	8	8	8
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	14		14	29	26	22	42	50	56	62	65	74	97	108	116	129	150	157	165	171	177	156	120	120
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	1												1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,712	2,693	2,635	2,548	2,495	2,364	2,577	2,525	2,420	2,397	2,504	2,653	2,672	2,551	2,419	2,331	2,368	2,318	2,245	2,215	2,289	2,207	2,024	2,169

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-44 足立区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	68	57	42	64	73	59	46	48	62	49	60	56	43	38	34	39	42	38	36	43	40	35	37
製造業	546	341	243	224	208	225	192	162	146	184	204	190	167	168	173	167	163	151	128	161	172	133	147
産業部門	615	400	287	290	283	286	240	212	210	234	266	248	212	208	208	208	206	190	164	204	213	169	185
家庭	694	730	708	782	713	834	802	788	843	897	967	989	919	859	845	873	831	805	833	875	828	748	818
業務	442	426	423	451	452	549	583	527	530	551	610	611	599	541	533	520	522	494	485	465	452	454	506
民生部門	1,136	1,155	1,131	1,233	1,165	1,383	1,385	1,315	1,372	1,448	1,577	1,599	1,519	1,399	1,378	1,393	1,353	1,299	1,319	1,339	1,280	1,202	1,324
自動車	794	910	952	787	772	724	698	690	594	591	557	545	540	522	445	442	427	413	382	392	386	371	371
鉄道	62	60	55	60	58	74	73	60	63	73	84	82	77	76	74	73	72	69	70	68	64	60	68
運輸部門	856	970	1,008	847	831	798	770	751	657	664	641	627	618	598	518	515	499	482	451	460	450	430	438
廃棄物部門	53	57	59	70	39	43	57	64	77	76	79	84	79	81	82	86	88	95	96	94	94	90	90
合計	2,659	2,583	2,484	2,440	2,317	2,510	2,452	2,342	2,317	2,423	2,563	2,558	2,427	2,287	2,187	2,202	2,146	2,066	2,030	2,098	2,038	1,891	2,037

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

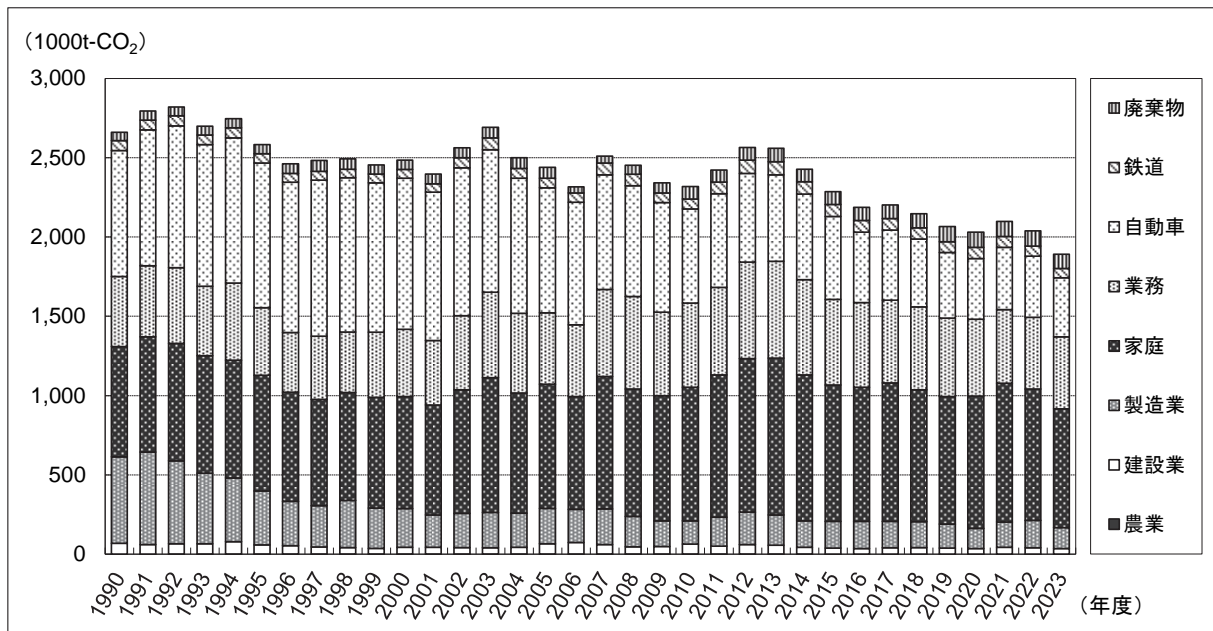


図 I-22 足立区における部門別二酸化炭素排出量の推移

23. 葛飾区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-45 葛飾区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	1,712	1,712	1,795	1,746	1,537	1,472	1,603	1,553	1,473	1,446	1,524	1,584	1,597	1,516	1,448	1,377	1,394	1,358	1,306	1,276	1,288	1,248	1,149	1,236
メタン (CH ₄)	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	18	18	19	17	14	13	13	12	11	9	8	8	7	7	7	6	7	6	6	6	6	5	5	5
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	9		9	21	18	14	27	32	36	38	40	45	59	66	71	78	92	96	100	103	106	94	73	73
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,745	1,732	1,829	1,788	1,571	1,502	1,645	1,599	1,523	1,495	1,575	1,639	1,665	1,591	1,529	1,465	1,495	1,463	1,415	1,388	1,403	1,349	1,230	1,317

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-46 葛飾区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	44	36	24	25	33	30	34	24	36	44	27	29	31	20	21	21	28	22	20	24	24	18	18
製造業	403	385	340	162	143	158	141	129	126	129	142	143	129	130	127	129	120	112	96	94	98	73	80
産業部門	448	422	366	188	177	190	176	154	163	174	171	173	161	151	149	151	149	135	117	119	123	91	100
家庭	471	502	487	533	488	567	547	532	556	600	645	646	607	574	568	584	554	538	553	569	548	494	540
業務	270	283	284	297	299	360	354	311	314	330	362	375	353	337	323	320	325	307	296	288	270	268	298
民生部門	740	785	771	829	787	927	901	843	869	930	1,007	1,022	960	911	891	904	879	845	849	856	818	762	838
自動車	466	534	561	470	461	432	416	412	342	345	325	318	316	305	258	257	246	239	222	226	223	216	216
鉄道	34	25	23	24	22	27	26	24	24	28	31	32	30	30	29	29	28	27	28	27	26	24	27
運輸部門	499	559	585	494	483	459	442	436	366	372	357	350	346	334	286	286	275	267	249	254	249	240	243
廃棄物部門	24	28	24	25	25	27	34	40	48	48	50	52	49	51	51	54	55	59	60	59	58	55	55
合計	1,712	1,795	1,746	1,537	1,472	1,603	1,553	1,473	1,446	1,524	1,584	1,597	1,516	1,448	1,377	1,394	1,358	1,306	1,276	1,288	1,248	1,149	1,236

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

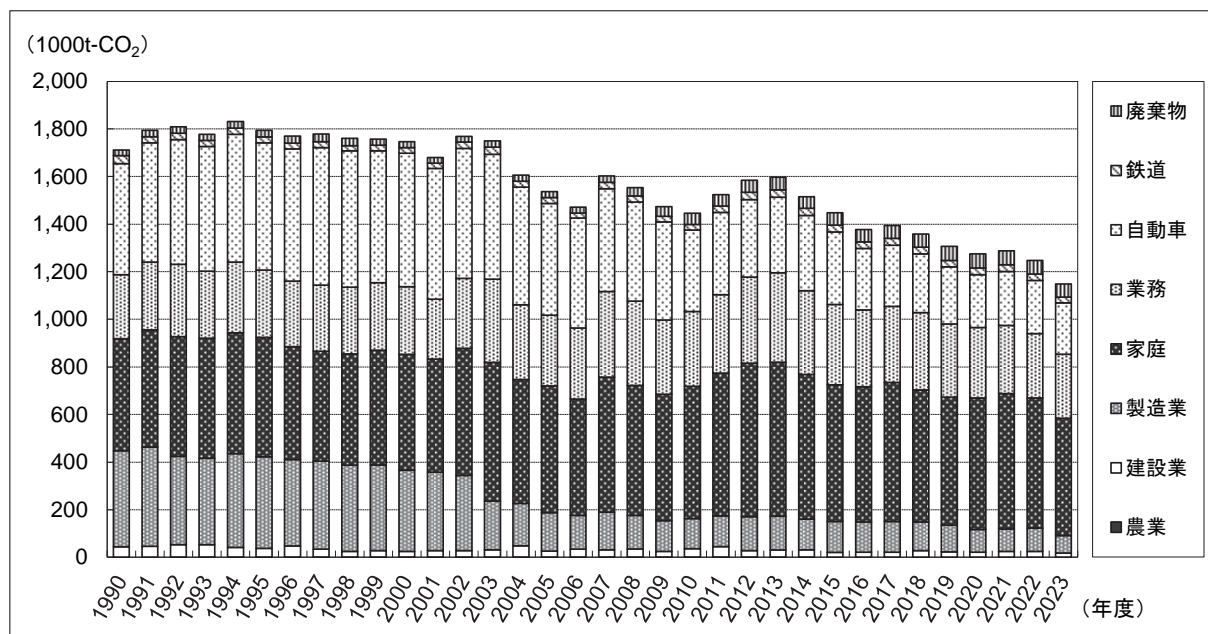


図 I-23 葛飾区における部門別二酸化炭素排出量の推移

24. 江戸川区の温室効果ガス排出量の推移

表 I-47 江戸川区における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
二酸化炭素 (CO ₂)	2,246	2,246	2,432	2,472	2,340	2,218	2,444	2,401	2,282	2,242	2,338	2,427	2,427	2,287	2,181	2,067	2,085	2,021	1,947	1,920	1,948	1,898	1,735	1,854
メタン (CH ₄)	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	27	27	28	28	22	21	20	19	18	14	12	12	11	11	10	11	10	10	10	10	9	8	8	8
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	10		10	25	24	20	41	47	53	57	60	67	88	99	107	117	137	142	148	154	157	139	108	108
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふッ化硫黄 (SF ₆)	3		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
三ふッ化窒素 (NF ₃)	0																							
合計	2,290	2,276	2,478	2,530	2,390	2,263	2,509	2,471	2,356	2,316	2,414	2,511	2,531	2,401	2,303	2,198	2,237	2,177	2,109	2,087	2,118	2,049	1,855	1,974

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-48 江戸川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 ^{注1}
農業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	80	70	44	40	41	36	37	33	40	45	37	39	33	25	23	34	30	28	34	29	46	27	28
製造業	439	334	294	218	210	288	274	256	229	241	252	228	208	215	209	205	201	196	188	220	218	179	189
産業部門	521	407	340	260	253	326	313	292	271	288	291	269	242	241	233	241	232	225	223	250	265	207	218
家庭	636	714	720	808	742	845	813	794	829	880	946	970	900	848	835	860	813	784	812	833	792	710	776
業務	277	391	423	457	435	525	542	462	474	494	544	548	516	479	466	454	457	426	401	375	359	360	401
民生部門	913	1,105	1,143	1,265	1,177	1,370	1,354	1,256	1,303	1,374	1,490	1,518	1,416	1,327	1,301	1,314	1,270	1,209	1,213	1,208	1,151	1,071	1,176
自動車	742	859	927	749	735	689	663	657	578	583	549	537	531	513	434	428	414	402	372	381	376	357	357
鉄道	32	17	16	18	16	19	18	16	17	20	22	22	21	21	20	20	19	19	19	19	18	17	19
運輸部門	773	876	943	767	750	708	681	673	595	602	571	560	553	533	454	448	433	420	391	400	394	374	377
廃棄物部門	38	45	46	48	37	40	52	60	73	74	76	81	76	79	79	83	85	92	92	90	88	83	83
合計	2,246	2,432	2,472	2,340	2,218	2,444	2,401	2,282	2,242	2,338	2,427	2,427	2,181	2,067	2,085	2,021	1,947	1,920	1,948	1,898	1,735	1,854	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑦参照)。

(注2) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

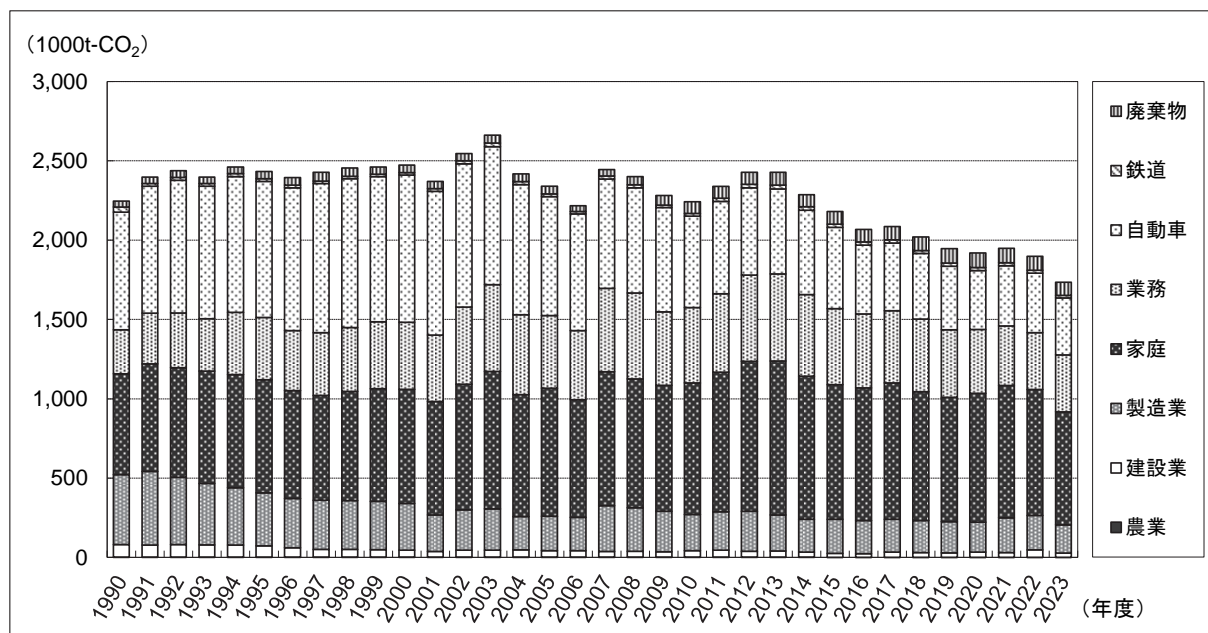


図 I-24 江戸川区における部門別二酸化炭素排出量の推移

II 特別区の温室効果ガス排出量増減に関する考察

1. 特別区の温室効果ガス排出量の全体の傾向

- ・2023年度の特別区における温室効果ガス排出量は約39.5万t(CO₂換算)で、基準年度比6.1%減、前年度比9.2%減となっている。基準年度と比べると、2007年度以降のHFCs排出量増加の影響があるものの、温室効果ガス排出量の大半を占める二酸化炭素排出量が減少しており、合計でも減少に転じている。
- ・近年は、2011年度以降数年増加した後、2014年度から減少に転じており、その後は減少傾向が続いている。なお、2023年度の二酸化炭素排出量が前年度比で大きく減少した要因には、電気の排出係数の定義変更の影響が含まれる(詳細は後述)。

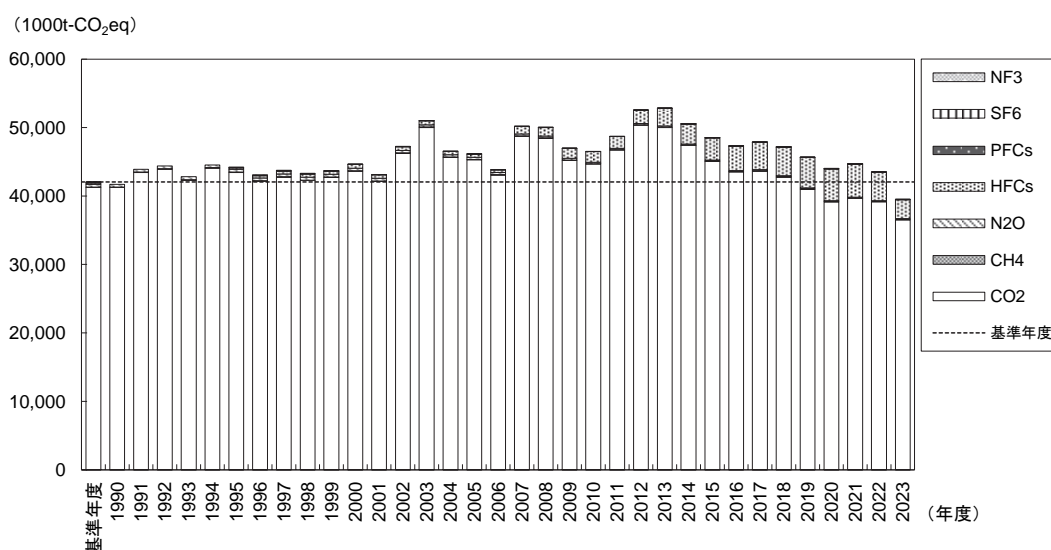


図 II-1 特別区の温室効果ガス排出量の推移

- ・二酸化炭素の主要な排出源となるエネルギー消費については図 II-2のとおりであり、特別区全体では2000年度頃から減少傾向が続いている。
- ・二酸化炭素排出量とエネルギー消費量の傾向が異なる要因は、エネルギー消費量を二酸化炭素排出量に換算する「二酸化炭素排出係数」にある。このうち、電気の二酸化炭素排出係数は、後述のとおり毎年変動し、二酸化炭素排出量はこの影響を強く受ける。

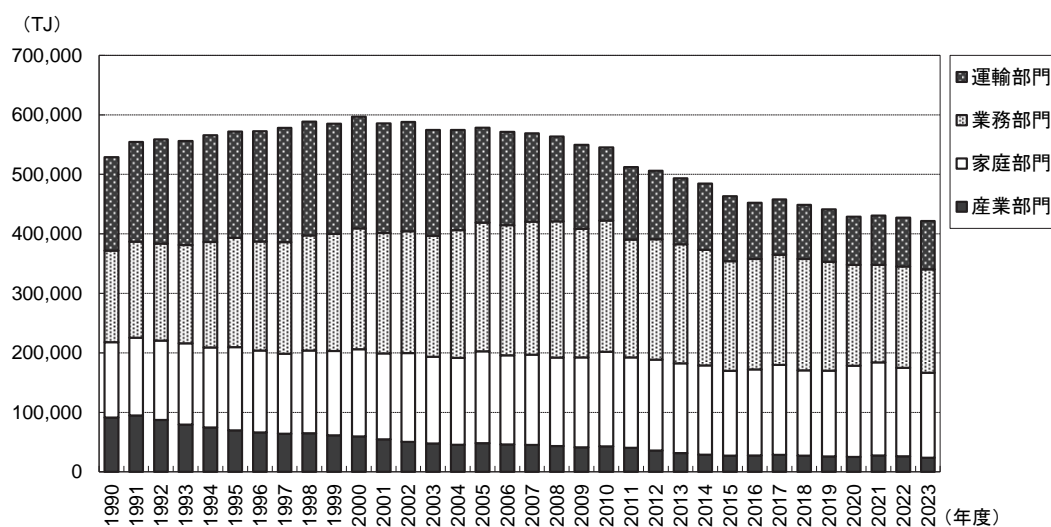


図 II-2 特別区のエネルギー消費量の推移

2. 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因

- ・電気の二酸化炭素排出係数は、その年度の電源構成（発電量ベース）により決定される。図 II-3 において二酸化炭素排出係数が高い年度は、図 II-4 において原子力発電による発電量の割合が低いことがわかる。
- ・前ページの図 II-2 において、2011 年度のようにエネルギー消費量が前年度比で増加していないにもかかわらず、図 II-1 において二酸化炭素排出量が増加している場合、その要因は電気の二酸化炭素排出係数の上昇によるものであると言える。
- ・2003 年度の二酸化炭素排出係数の上昇は、「東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下」の影響である。
- ・2007 年度の二酸化炭素排出係数の上昇は、「新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止」の影響である。
- ・2011 年度以降の二酸化炭素排出係数の上昇は、「東日本大震災以降の原子力発電所の停止」の影響である。
- ・2023 年度の二酸化炭素排出係数の変動には、電気の二酸化炭素排出係数の定義が「未調整排出係数」から「基礎排出係数（非化石電源調整済）」へ変更されたことによる影響が含まれる（詳細は『本報告書における注意点について』⑦参照）。

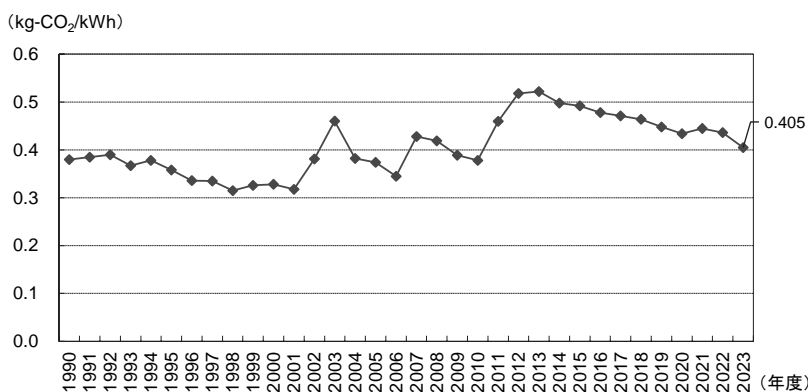


図 II-3 電気の二酸化炭素排出係数の推移

(注) 都内に電気を供給している各事業者の都内供給電力量に基づいた排出係数の加重平均値

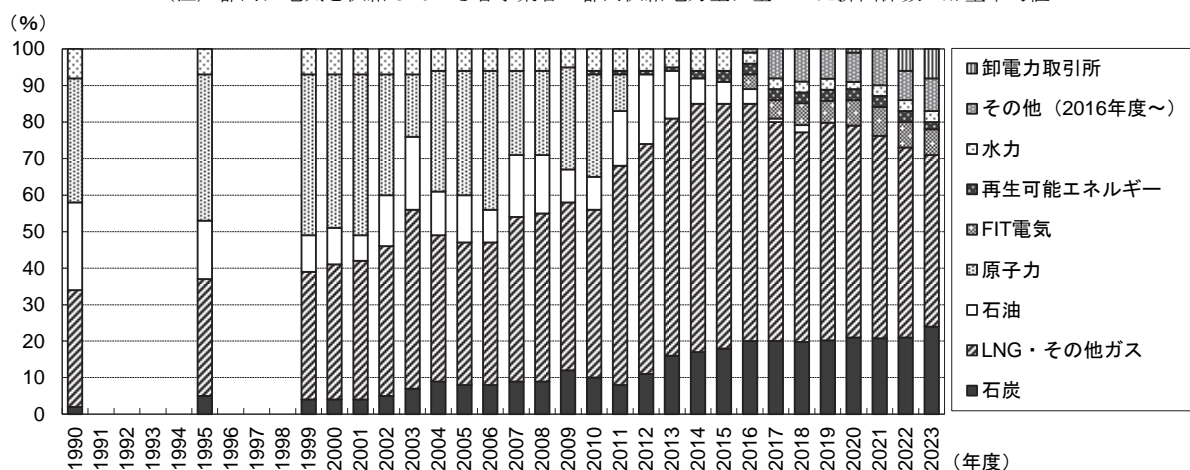


図 II-4 東京電力のエネルギー別発電電力量構成比

(出典) 2016 年度～2021 年度：東京電力エナジーパートナーHP「電源構成」各年度実績
https://www.tepco.co.jp/ep/power_supply/20xx.html (20xx の xx を当該年度の数字に置き換え)
 2022 年度以降：「TEPCO 統合報告書」各年版
https://www.tepco.co.jp/about/ir/library/annual_report/

(注) 2016 年度以降の他社受電分は「その他」に計上している。また、卸電力取引所から調達した電気には水力、火力、原子力、FIT 電気、再エネ等が含まれる。なお、2015 年度以前の数値は当時の公表データ（他社受電分を含む）を使用しているが、現在はサイト更新等により同基準でのデータは取得不可となっている。

3. 民生家庭部門における世帯数の影響

- ・特別区の家帯数は堅調に増加しており、2023年度は前年度比で1.7%増、1990年度比で57%増となっている。
- ・世帯当たりエネルギー消費量は、1990年度比で28%減となっていることから、民生家庭部門におけるエネルギー消費量の増加（同13%増）の主な要因は、「世帯数の増加」であると言える。
- ・世帯当たりエネルギー消費量が減少傾向にあるのは、世帯人員（1世帯当たり人数）の減少等が主な要因として考えられる。加えて2011年度以降は、東日本大震災後の節電の取組とその定着、さらに省エネ設備・機器の普及等により世帯当たりエネルギー消費量が減少していると考えられる。
- ・2017年度の世帯当たりエネルギー消費量が東日本大震災以降初めて増加となった主な要因は、厳冬による暖房需要の増加であると考えられる。
- ・2020年度～2021年度にかけて世帯当たりエネルギー消費量が増加となった主な要因は、コロナ禍による在宅時間の増加に伴う、家庭内エネルギー需要の増加であると考えられる。

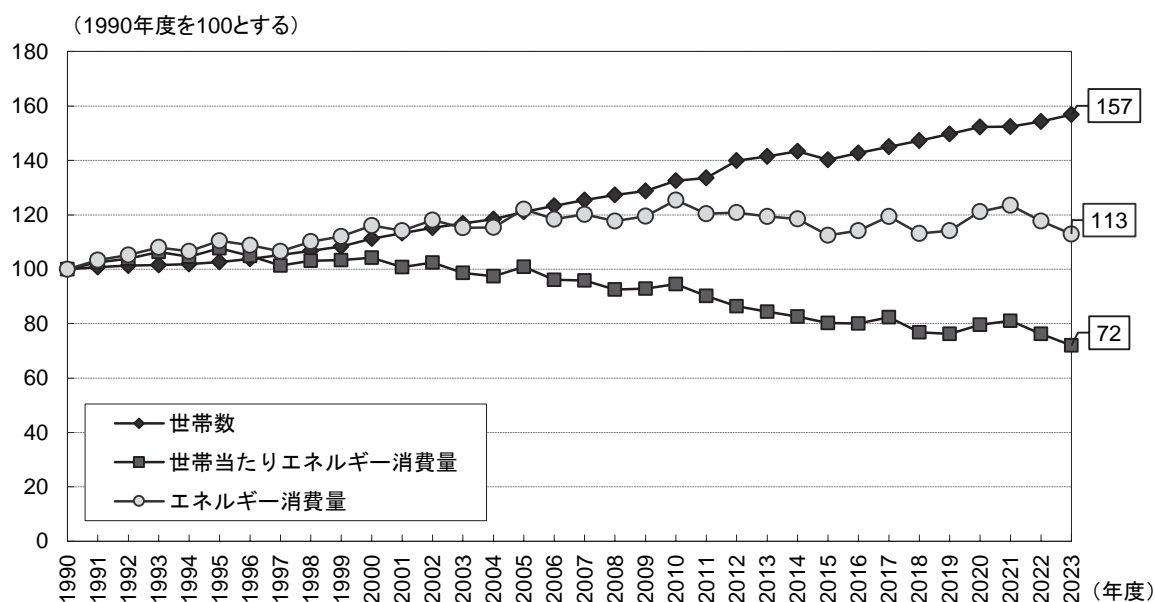


図 II-5 特別区の家帯数とエネルギー消費量

4. 民生業務部門における延床面積の影響

- ・特別区の業務延床面積は堅調に増加しており、2023年度は前年度比で0.3%増、1990年度比で55%増となっている。
- ・延床面積当たりエネルギー消費量は、1990年度比で27%減となっていることから、民生業務部門におけるエネルギー消費量の増加（同13%増）の主な要因は、「延床面積の増加」であると言える。
- ・2011年度は東日本大震災後の節電の取組等により、延床面積当たりエネルギー消費量が減少している。それ以降は節電の取組が定着し、また省エネ設備・機器が普及したこと等により、延床面積当たりエネルギー消費量は減少傾向で推移している。
- ・2022年度以降の延床面積当たりエネルギー消費量が増加しているのは、コロナ禍からの経済回復や在宅勤務率の低下に伴う、オフィス等の稼働時間及び稼働空間の拡大が影響している可能性があると考えられる。

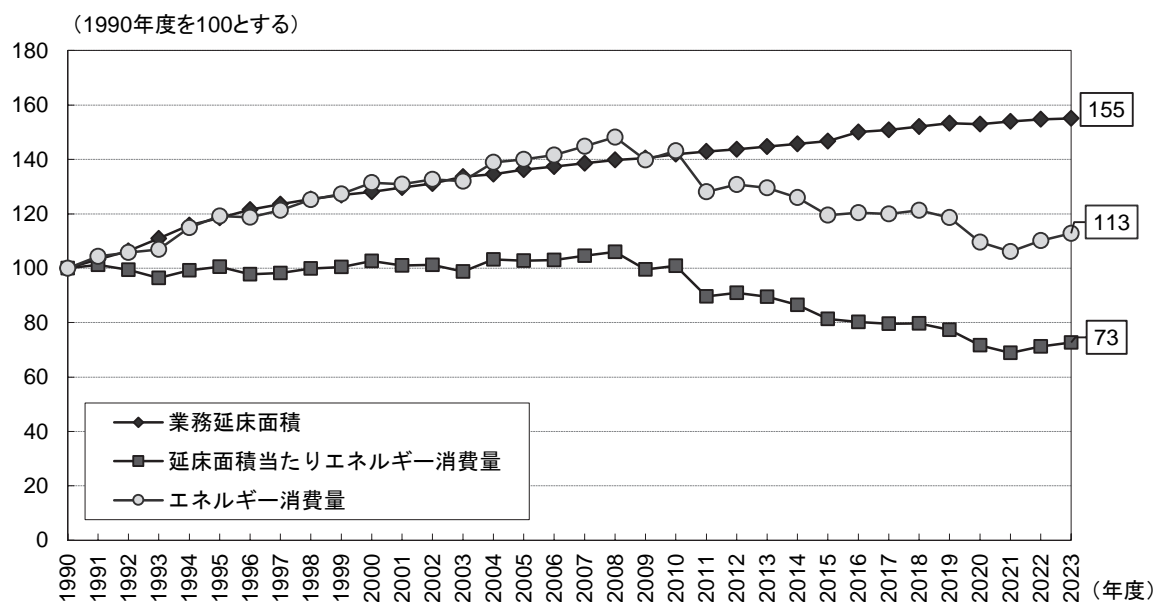


図 II-6 特別区の業務延床面積とエネルギー消費量



2025 年度オール東京 62 市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

「特別区の温室効果ガス排出量」

発 行 2026 年 3 月

主 催 特別区長会・東京都市長会・東京都町村会

企 画 (公財) 特別区協議会

(公財) 東京市町村自治調査会

本書は、株式会社住環境計画研究所に委託し、オール東京 62 市区町村共同事業として作成したものである。

本書は再生紙を使用しています